

ADDZEST

CD/ワイド7インチAVセンターユニット

VRX825

取扱説明書

目次 Page>>>



正しい取付
正しい操作で
安全運転



このたびは、アゼスト商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

保証書(別添)はお買い求めの販売店で記入いたしますので、内容をご確認のうえ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

この取扱説明書には、本機で操作する外部機器(CDチェンジャー、MDチェンジャー)の操作説明も含まれています。これらの製品の取扱説明書には、操作説明は記載されておりません。

また、本機は、eNETマークのついた外部機器のみ操作することができます。

目次

はじめに

ご使用前に知っておいていただきたいご注意や、この取扱説明書で使っている各部の名称などを説明しています。

主な特長	6
ご使用前に	7
安全に正しくお使いいただくために	7
安全上のご注意	8
取扱上のご注意	10
液晶パネル部について	10
液晶画面について	11
本体のお手入れについて	11
DCP部の取り扱いについて	11
CDプレーヤー部について	11
エラー表示について	11
本体の取り扱いについて	11
CDについて	12
安全運転への配慮	12
テレビ放送の受信について	12
ワイド画面について	12
システムチェックについて	13

本機の操作

本機にスピーカーを接続するだけでお楽しみいただける機能について説明しています。

各部の名称とはたらき

本体各部の名称とはたらき(液晶パネルクローズ状態)	14
本体各部の名称とはたらき(液晶パネルオープン状態)	16
インフォメーションパネル部のディスプレイ表示	18
液晶パネル部のディスプレイ表示	19
液晶パネルオープン状態における操作の概要	20
別販リモコン(RCB-158)のつかいかた	22

基本の操作

DCPの取り外しかた	24
DCPの取り付けかた	24
電源を入れる	25
音量を調整する	25
消音(ミュート)する	25
インフォメーションパネルのディスプレイ表示を切り換える	25
液晶パネルを立ち上げる	26
液晶パネルの角度等を調整する	26
液晶パネルを水平状態にする(エアコン操作モード)	27
液晶パネルを収納する	27
画面表示をOFFする	27
オーディオ・テレビ画面にする(前回終了時ナビゲーションモードの場合)	27
モードを選ぶ	28
時刻を合わせる	29
ディスプレイの背景画面を設定する	29

音質を簡単に設定する(Z-エンハンサー機能)	31
Z-エンハンサー量を調整する	31
音質を調整する(バス/トレブル)	32
バランス/フェダーを調整する	32
ラウドネス効果をON/OFFする	33
ノンフェダー出力のレベルを調整する	33
タイトルリストから演奏する	33

設定を変更する(アジャストモード)

環境設定の画面を選ぶ	34
画面の明るさ・色あい・色の濃さを設定する(MONI ADJ)	35
MOTION/SPRITEパターンの感度を切り換える(ANA SENS)	35
操作時のピープ音を設定する(BEEP)	35
ディスプレイ表示の明るさを調整する(DIMMER LEVEL)	36
ボタン照明を設定する(KEY ILLUMI)	36
インフォメーションパネルのボタン照明を設定する(KEY ILLUMI)	36
チューナーエリアを設定する(TUNER AREA)	37
TVダイバーシティを設定する(TV DIVER)	38
テレビエリアを設定する(TV AREA)	38
外部接続機器を設定する(CONNECT)	40
電話の割り込みを設定する(TEL SPEAKER)	40

ラジオを聴く

ラジオモードを選ぶ	41
受信バンドを選ぶ	41
自動選局(シーク)と手動選局(マニュアル)を切り換える	41
自動選局する(シーク選局)	41
手動選局する(マニュアル選局)	42
プリセット選局する	42
プリセットメモリーする	42
自動メモリーさせる(オートストア機能)	43
聴きたい放送局を探す(プリセットスキャン)	43
特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能)	43

テレビを見る

テレビモードを選ぶ	44
受信バンドを選ぶ	44
自動選局(シーク)と手動選局(マニュアル)を切り換える	45
自動選局する(シーク選局)	45
手動選局する(マニュアル選局)	45
プリセット選局する	45
プリセットメモリーする	45
自動メモリーさせる(オートストア機能)	46
見たい放送を探す(プリセットスキャン)	46
画面サイズを切り換える	47
副音声を楽しむ	47
ステレオ放送をモノラルにする	47
VTRを見る	47

CDを聴く

CDを入れる	48
ディスクを取り出す	48
すでに入っているディスクを聴く	49
曲を選ぶ	49
演奏を止める(一時停止)	49
早送り/早戻しする	49
聴きたい曲を探す(スキャン演奏)	49
1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)	50
ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)	50
ディスクタイトルまたは曲(トラック)タイトルをスクロールさせる	51

タイトルをつける

タイトルを入力する	52
タイトルをイーザーインプットする	53
タイトルを削除する	54

外部機器の操作

本機とスピーカーの他に、別製品のCDチェンジャー、MDチェンジャー等を接続したときにお楽しみいただける機能について説明しています。

CD/MDチェンジャーを操作する

モードを選ぶ	55
演奏するディスクを選ぶ	55
曲を選ぶ	56
早送り早戻しする	56
演奏を止める(一時停止)	56
聴きたい曲を探す(スキャン演奏)	56
聴きたいディスクを探す(ディスクスキャン機能)	57
1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)	57
1枚のディスクを繰り返し聴く(ディスクリピート演奏)	57
ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)	58
全ディスクの演奏をランダムに聴く(ディスクランダム演奏)	58

DSPを操作する

スタンダードモード/プロモードを切り換える	59
サブウーファー、オートラウドネス、再生帯域の出力を調整する	59
ウーファー出力レベルを調整する	60
リスニングポジションを設定する	61
リスニングポジションを調整する	61
G.EQの操作(スタンダードモード)	62
G.EQ効果をON/OFFする	62
G.EQメニューを選ぶ	62
G.EQを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)	63
DSFの操作(スタンダードモード)	63
DSF効果をON/OFFする	64
DSFメニューを選ぶ	64

DSFを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)	64
VSEの操作(プロモード)	65
VSE効果をON/OFFする	65
VSEメニューを選ぶ	66
VSEを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)	66
P.EQの操作(プロモード)	67
P.EQ効果をON/OFFする	67
P.EQメニューを選ぶ	67
P.EQを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)	68
ユーザーメニューにタイトルをつける	68

その他の外部機器を操作する

DVDビデオを見る	69
DVDビデオモードを選ぶ	69
外部機器の映像を見る	69
ビデオを見る	69
後方確認カメラの映像を見る	69
携帯用オーディオを聴く	70
AUXモードを選ぶ	70
AUX入力ユニット接続のしかた	70
MDデッキを操作する	70

その他

システムアップについて	71
CeNET ケーブルについて	72
故障と思われる前に	72
エラー表示について	74
仕様	75
アフターサービスについて	裏表紙

主な特長

7型ワイドカラー液晶パネル

- 7型TFTアクティブマトリックス駆動方式カラー液晶パネルの採用で、迫力ある映像が楽しめます。

フルローディングメカニズム

- 液晶パネル部をコンパクトに収納し、快適な操作性のフルローディングメカニズムを採用、車内のスペースをムダにしません。
- ボタンひとつで液晶パネル部を自動で引き出したり、収納できます。

快適な操作性

- 液晶パネル部の角度は、見る人の位置に合わせて調整できます。
- ディスプレイに触れるだけで各種機能のコントロールができるタッチキーパネル方式です。

ディスプレイ

- ディスプレイの背景画面を、好みの動画や色を組み合わせることで、多彩なディスプレイ効果を得ることができます。

エアコン操作モード内蔵

- エアコン操作時等液晶パネルを水平状態にできます(約10秒間)。

ラジオチューナー部

- 聴きたい放送局を、どのモードからでもワンタッチで選局するISR機能
- FM、AM各12局のプリセットが簡単なオートストア機能
- メモリー局を順に受信するプリセットスキャン機能
- チューナーエリアを選択するだけで、受信可能な周波数に対して自動的に放送局名を表示することができるエリアセレクト機能

CDプレーヤー部

- 演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能
- 全曲の最初の10秒間ずつを演奏するスキャン機能
- 1枚のディスクの曲を順不同に演奏するランダム機能

タイトル入力機能

- ラジオ、TVの放送局やCDにタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させるタイトル機能
- MDのディスク名または曲名を表示させるタイトル機能

TVチューナーコントロール部 付属のTVチューナー接続時)

- プリセットが簡単なオートストア機能で、TV1:6局、TV2:6局、合計12局をメモリー(エリアセレクト外)
- メモリーした放送局を7秒間ずつ受信するプリセットスキャン機能

CENET (Clarion Entertainment Network:シーイーネット) 結線対応

- 外部機器との結線にCENET方式を採用。これにより、複数の外部機器接続時の中継BOXが不要となりました。
- CeNET結線対応の別販CDチェンジャーおよびMDチェンジャーを合計2台まで接続および操作できるチェンジャーコントロール機能。

CD/MDチェンジャーコントロール部 別販品接続時)

- 演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能
- 演奏中のディスクを繰り返し演奏するディスクリピート機能
- 全曲の最初の10秒間ずつを演奏するスキャン機能
- 全ディスクの1曲目の最初の10秒間ずつを演奏するディスクスキャン機能
- 1枚のディスクの曲を順不同に演奏するランダム機能
- 収納している全ディスクの曲を順不同に演奏するディスクランダム機能

DSP/イコライザーコントロール(別販品接続時)

- 12種類のベーシック音場メニューおよび6種類のユーザー音場メニューから選べるデジタル・サウンド・フィールド(DSF)、およびグラフィックイコライザー(G.EQ)、バーチャルスペースエンハンサー(VSE)、パラメトリックイコライザー(P.EQ)機能。また、各種きめ細かな調整により、好みの音場・音質に設定することが可能です
- 乗客数によって選択可能な5つのリスニングポジション機能

ご使用の前に

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この「取扱説明書」への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



⚠ 記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容(左図の場合は指はさまれ注意)が描かれています。



🚫 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中には具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



❗ 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全上のご注意

安全のため、ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所(グローブボックスなど)に必ず保管してください。

■ ご使用の前に

安全上のご注意

使用上のご注意

⚠ 警告

走行中は運転者による操作をしない...

運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。ナビゲーション機器は、安全のため、パーキングブレーキを操作して停車させないと、一部の操作ができなくなっています。



走行中はピラーアンテナやルーフアンテナの引き伸ばし操作をしない...

運転操作に支障をきたし、事故の原因となります。



運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させる...

本機は、安全のため、パーキングブレーキを操作して停車しないと、映像を見ることができなくなっています。



本機を分解したり、改造しない...

事故や火災、感電の原因となります。



画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない...

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。



万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変なにおいがあるなど異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談する...

そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。



ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する...

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



本機の取り付けおよび取り付けの変更は、安全のため、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口へ依頼する... 専門技術と経験が必要です。



⚠ 注意

ナビゲーションによる経路誘導・音声案内時は、実際の交通規則にしたがって走行する...



運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する...

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。



オペレーションパネル開閉時または角度を切り換えるときは、機構部に手や指を近づけない...

挟まれて、ケガの原因となることがあります。



ディスク挿入口に手や指を入れない...

ケガの原因となることがあります。



ディスク挿入口に異物を入れない...

火災や感電の原因となることがあります。



本機を車載用以外には使用しない...

感電やケガの原因となることがあります。



アンテナの折れ曲がった状態で使用しない...

歩行者などに接触して、ケガの原因となることがあります。



樹脂加工部に対してベンジンやシンナーなどの溶剤を使用して清掃しない...

部品変形により故障して、火災などの原因となることがあります。

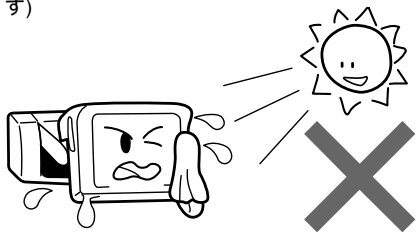


取扱上のご注意

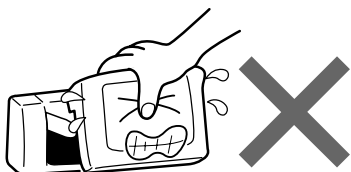
液晶パネル部について

本機は、画面に触れるだけでダイレクトに操作できる、タッチキー方式のディスプレイを採用しています。

夏期は車内の温度が高くなることがありますので、車内の温度を下げてからお使いください。(ディスプレイが正常に動作する温度は0 ~ 60 度です)

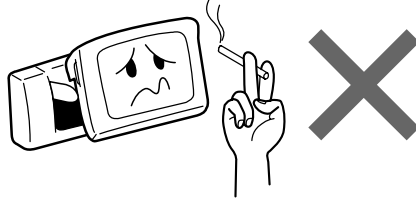


液晶パネル部を持ってディスプレイの角度を調整しないでください。(角度調整ボタンを使用してください。)



ディスプレイに衝撃を加えたりすると、破損や変形など、故障の原因となります。

ディスプレイ本体に、タバコの火がふれないようにしてください。キャビネットが変色したり、変形したりすることがあります。

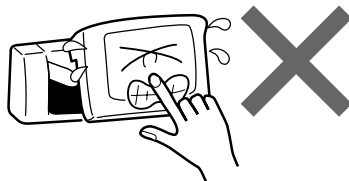


ディスプレイの表面は傷つきやすいので、ボールペンや爪の先など硬いものでこすったり、たいたりしないでください。



ディスプレイを傾けたとき、本体との間にできるすき間に、ものを入れたり、ついたりしないでください。

ディスプレイのタッチキーは、軽く触れると動作します。強い力でタッチキー画面を押さないでください。



タッチキーパネルの周囲のケースを強く押さないでください。タッチキーの誤動作を起こす恐れがあります。

ご注意

- ・バッテリー交換などで本機への電源供給が止まると、メモリー内容が消えて初期設定の状態になります。
- ・液晶パネル部の引き出し / 収納は、エンジン停止時や寒いときなどに止まる場合がありますが、故障ではありません。何度か、液晶パネル開閉ボタンを押してください。

液晶画面について

液晶パネル部の表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たいたりしないでください。

液晶パネル部に水滴などをつけた状態で放置しないでください。変色、シミの原因となります。また、水分が内部に侵入すると故障の原因となります。水滴などがついてしまった場合は、すぐ脱脂綿や柔らかい布などでふき取ってください。

非常に寒いとき、画面の動きが遅くなったり画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

液晶パネルの中には、小さな黒点や輝点が出る場合がありますが、液晶特有の現象で、故障ではありません。

本体のお手入れについて

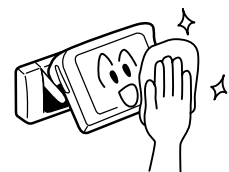
本体をお手入れするときには、やさしい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



ベンジンやシンナー、自動車用クリーナーなどは、変質したり、塗料がはげる原因となりますので、使わないでください。また、ゴムやビニール製品を長期間接触させておくと、シミのつくことがあります。

液晶表示部のお手入れ

ホコリがつきやすいので、ときどき、やさしい布でふいてください。



DCP部の取り扱いについて

DCP部は精密部品ですので、DCPを落としたりして、衝撃を与えないでください。また、絶対に水をつけないでください。

DCP部が汚れたときには、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

CDプレーヤー部について

車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用するとCDやMD、光学部品が曇って、正常に動作しないことがあります。

CDが曇っているときは、やさしい布でふいてください。また、MDや光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておくと、自然に曇りがとれ、正常に動作します。

本機の機構は精密なため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油することは、やめてください。

CDまたはMDを演奏中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。

CDやMDをイジェクトしたまま走行しないでください。走行中の振動により、CDやMDが落下する恐れがあります。

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。ディスプレイにエラーが表示されたときは、「エラー表示について」の項目(74ページ)を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

本体の取り扱いについて

システムの動作中に、ケーブルの抜き差しは絶対におやめください。故障の原因となります。必ず車両アクセサリー電源を切ってから行ってください。

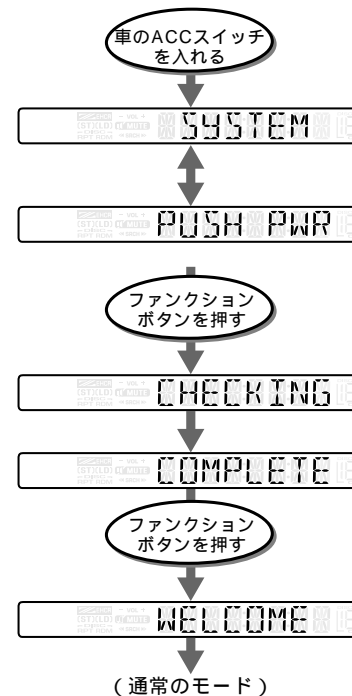
バッテリー交換などで本機への電源供給が止まると、お客様が登録したメモリー内容が消えて、初期設定状態になります。その場合には、もう一度設定し直してください。

システムチェックについて

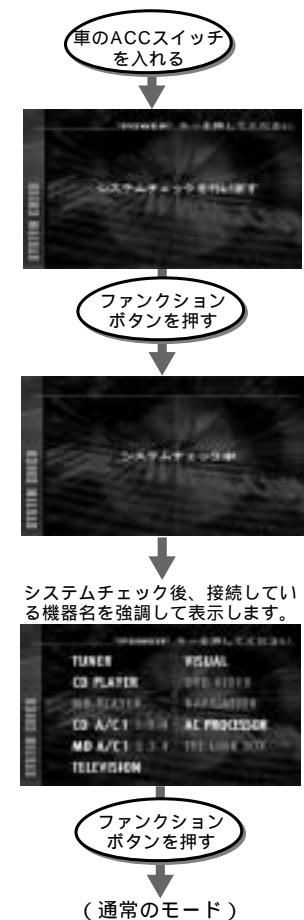
本機に採用されているCeNET方式はシステムチェック機能を採用しています。オペレーションパネルのシステムチェック画面は次のようなときに表示されますので、電源ボタンを2回押して通常画面に戻してください。

- 本機の取付け直後に電源を入れたとき
- 外部機器を接続または取り外したとき
- バッテリー交換等で電源が切れたとき
- リセットボタンを押したとき
- ナビゲーションのメニューから(別販DVD-ROMナビゲーションを接続している場合)「機能」「情報表示」「接続チェック」を押したとき

液晶パネル収納状態のとき



液晶パネルオープン状態のとき



取扱上のご注意

CDについて

COMPACT DISC MARK または DIGITAL AUDIO COMPACT DISC MARK のついた CD をご使用ください。また、ハート型や八角形など、特殊形状の CD は使用しないでください。CD-R で記録された CD ディスクは、使用できない場合があります。

CD-R を作成するソフトによっては、CD テキストが表示できない場合があります。

「EXTRA CD」は再生できない場合があります。CD-RW で記録された CD ディスクは使用できません。

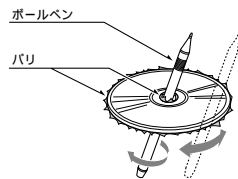
取り扱い上のご注意

ディスク面にラベルを貼ったり、鉛筆やペンで文字などを記入しないでください。

CD にセロハンテープやレンタル CD のラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるものは使用しないでください。そのまま CD プレーヤーに入れると、CD が取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

ディスク面には、傷や指紋をつけないように扱ってください。

新しい CD には、周囲に「バリ」が残っていることがあります。このような CD を使用すると、動作しなかったり、音飛びの原因となります。バリのある CD は、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

- 直射日光のあたる場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 暖房の熱が直接当たる場所

お手入れ

汚れたときは、やわらかい布で、ディスクの内側から外側に向かって、よくふいてください。

従来のレコードクリーナー液やアルコールなどは、使用しないでください。

CD 専用クリーナーを使用した場合は、よく乾燥させてからお使いください。

安全運転への配慮

安全運転への配慮から、テレビの映像が表示されるのは、停車中(パーキングブレーキを引いているとき)だけです。テレビをご覧になるときは、必ず、車を停車させてお楽しみください。走行中は図のような画面が表示され、音声のみを聴くことができます。背景画面は、「ディスプレイの背景画面を設定する」(29ページ)で設定したパターンを表示します。

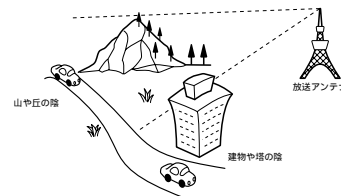


テレビ放送の受信について

テレビ放送を受信する場合、家庭用のテレビアンテナは最適な向きに固定できますが、車は移動するため、建物や山などの障害物に影響されて、電波の強さが変わり、受信状態が悪くなる場合があります。

放送エリアから離れると、電波が弱くなり、受信状態が悪くなります。また、UHF放送局や地方局は、放送電波の出力が小さいため、数kmの移動で受信状態が悪くなる場合があります。

電車の架線や高圧線、信号機などの外部要因により、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。



ワイド画面について

ワイドテレビは、各種画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されると、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。

各部の名称とはたらき

本体各部の名称とはたらき(液晶パネルクローズ状態)



ボリュームボタン
 ・+または-を押して、音量を調節します。



リリースレバー
 ・DCPを外します。



CDイジェクトボタン
 ・すでにCDが入っている時に押すと、CDがイジェクトされます。



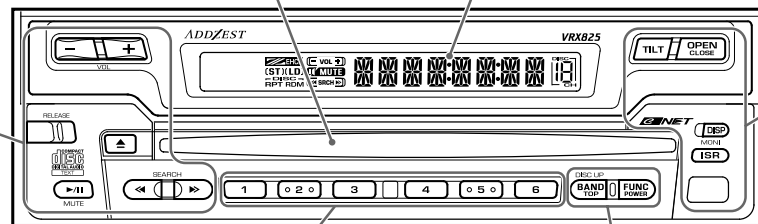
プレイ/ポーズボタン
 ・ミュート(消音)機能をON/OFFします。
 ・CDモードやCD/MDチェンジャーモード時は、押し続けると演奏の一時停止をします。



サーチボタン
 ・ラジオ/TVモード時は選局に使います。
 ・CDモード時やCD/MDチェンジャーモード時には選曲に使います。押し続けると早送り/早戻しを行います。

CD挿入口

インフォメーションディスプレイ部
 選局/演奏状態の各情報を表示します。



ダイレクトボタン
 ・ラジオ/TVモード時には、放送局をメモリーして直接呼出します。
 ・CD/MDチェンジャーモード時にはディスクを選択します。



ファンクションボタン
 ・電源を入れ、各モードに切り換えます。電源を切るときは押し続け(約1秒間)ます。



バンドボタン
 ・ラジオ/TVモード時は、バンドを切り換えます。また、押し続け(約1秒間)て自動選局か手動選局に切り換えます。
 ・CDモード時は最初の曲を演奏します。(トップ機能)
 ・CD/MDチェンジャーモード時は、ディスクの切り換えに使います。(ディスクアップ機能)



液晶パネル調整ボタン
 ・液晶パネルの角度を5段階に調整します。
 ・液晶パネルがオープンしているときに押し続けると、前後に3段階スライド調整します。



液晶パネル開閉ボタン
 ・液晶パネルが収納されている時に押すと自動的に出てきます。液晶パネル部が出ているときに押し続けると収納されます。
 ・液晶パネルが出ているときに約2秒間押し続けると、液晶パネル部が水平状態になります。もう一度押すと元の位置に戻ります。ボタンを押さない場合は約10秒後に元の位置に戻ります。



ディスプレイボタン
 ・背景画面設定へ切り換えます。
 ・TV/VTR/DVDビデオモード時にパーキングブレーキを引いているときに押すと、画面サイズを切り換えます。
 ・押し続けると画面表示をON/OFFします。



ISRボタン
 ・現在のモードにかかわらず、よくお聴きになるラジオ局をすぐに呼出します。(ISR機能)



リモコン信号受光部
 ・別販のリモコン信号を受信します。

■ 各部の名称とはたらき

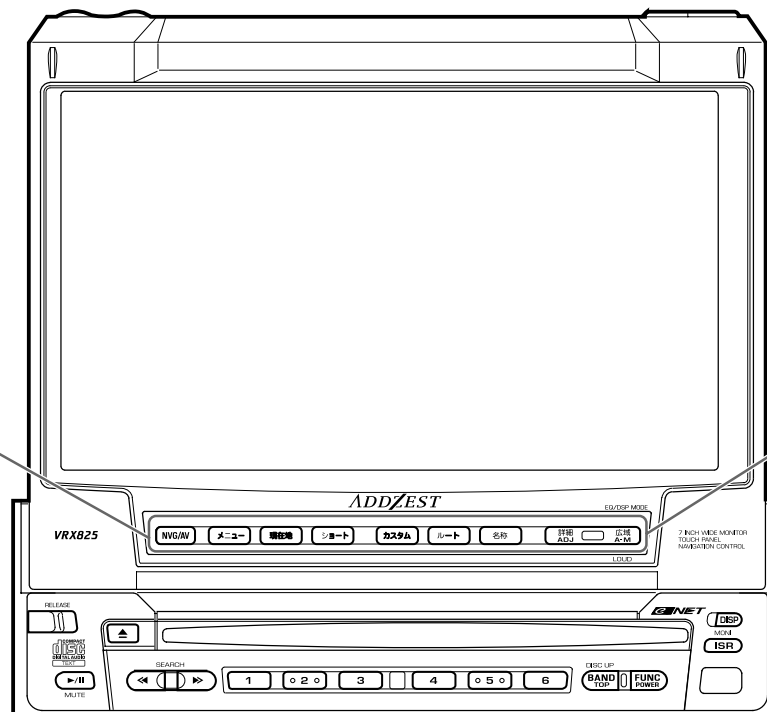
本体各部の名称とはたらき(液晶パネルオープン状態)

詳細 ADJ アジャストボタン
 ・設定を変更(アジャストモード)するときメニューを呼び出します。

広域 A-M オーディオモードボタン
 ・音質やバランス/フェーダー等の調整(オーディオモード)をするときに使います。
 ・押し続けると低音を強調します。(ラウドネス機能)

ご注意

CDモード、CD-MDチェンジャーモード時のスキャン/リピート/ランダム演奏等は、画面に触れてメニュー画面を表示「SUB MODE」キーに触れてサブメニューを表示 演奏させたいキー(「TRACK SCAN」等)に触れて演奏させます。



以下のボタンはCeNETナビゲーションシステム接続時に使用します。

NAV/AV NAVI/AV切換ボタン
 ・ナビゲーションモードとAVモードを切り換えます。

メニュー メニューボタン
 ・ナビゲーションモード時は、メインメニューを表示します。

現在地 現在地ボタン
 ・ナビゲーションモード時は、メニュー画面表示中に押すと地図画面を表示します。また、スクロール中の地図画面で押すと、地図上の現在地を表示します。

ショート ショートカットボタン
 ・目的地の設定や解除など、状況に応じたメニューを開けます。

カスタム カスタムボタン
 ・ナビゲーションモード時は「VICS情報呼び出し」など、よく使う機能のうちの1つを、このボタンで呼び出すことができます。

ルート ルートボタン
 ・ナビゲーションモード時は、ルート誘導中、渋滞でコースを迂回したときや、中継点設定していない場所に寄り道したときに、ルートを再計算できます。また、複数のルートからお好みのルートを選べます

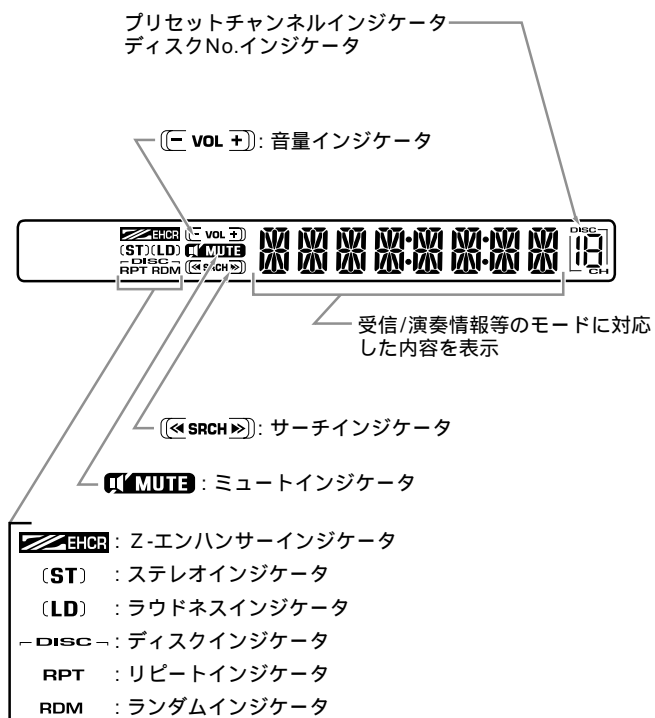
名称 名称ボタン
 ・ナビゲーションモード時は、ランドマーク、道路など名称を切り換えます。

詳細 ADJ 詳細ボタン
 ・ナビゲーションモード時に、地図画面を拡大します。

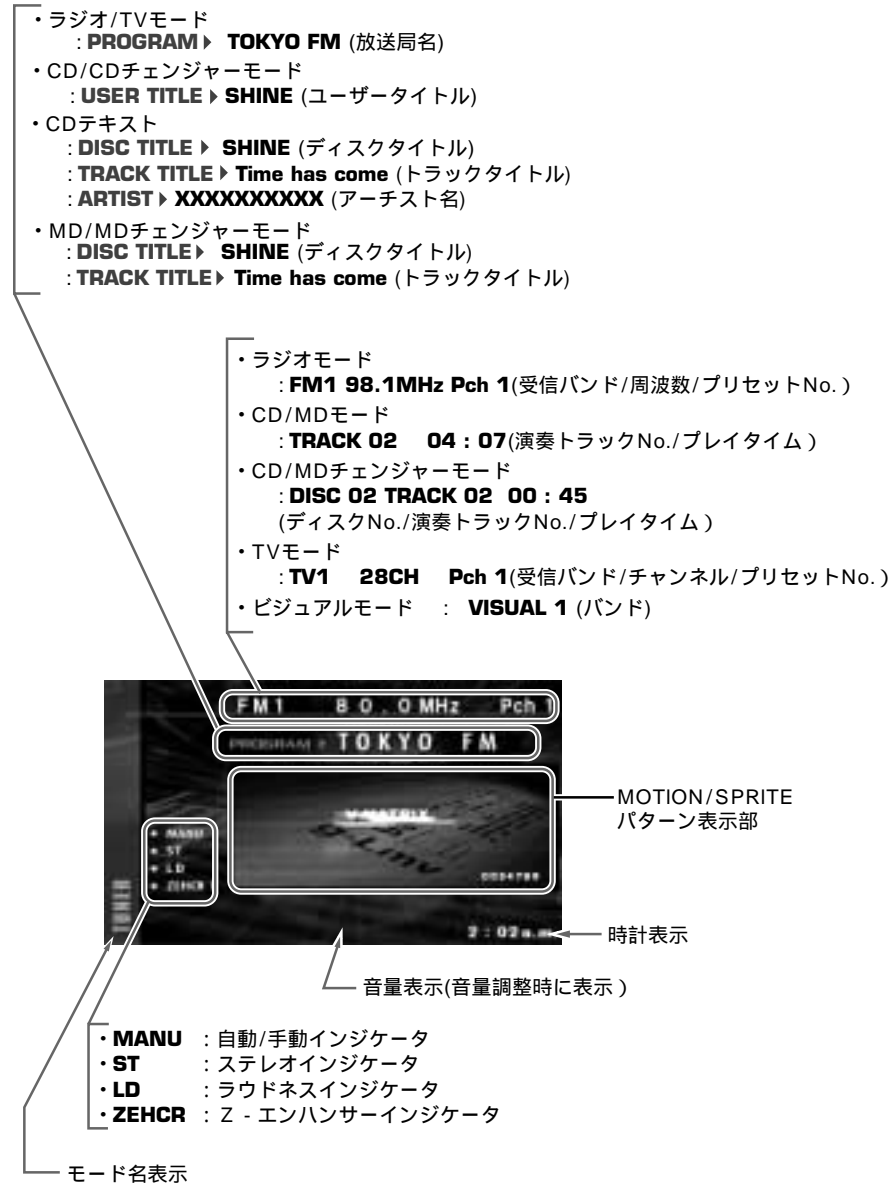
広域 A-M 広域ボタン
 ・ナビゲーションモード時に、地図画面を縮小します。

■ 各部の名称とはたらき

インフォメーションパネル部のディスプレイ表示

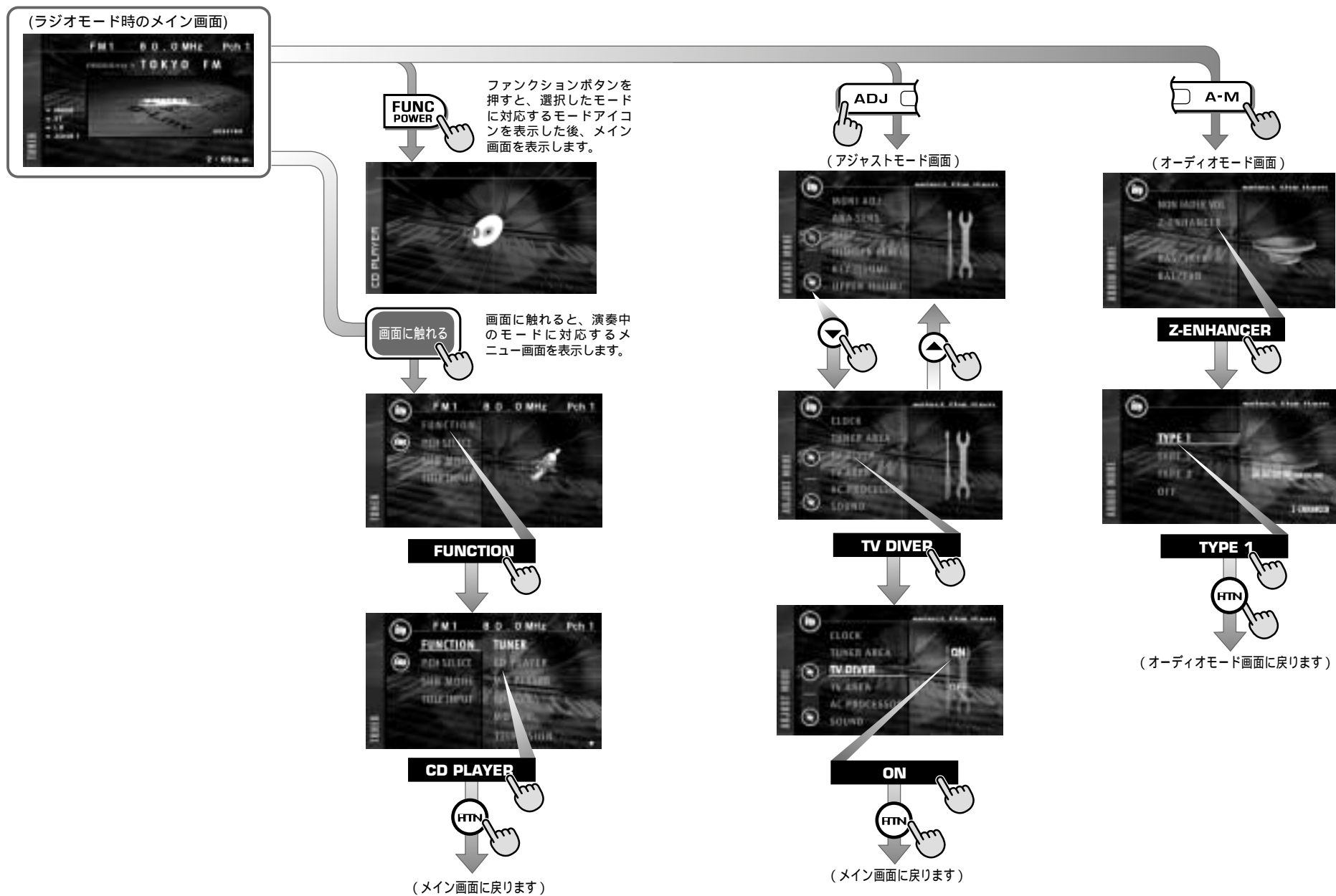


液晶パネル部のディスプレイ表示



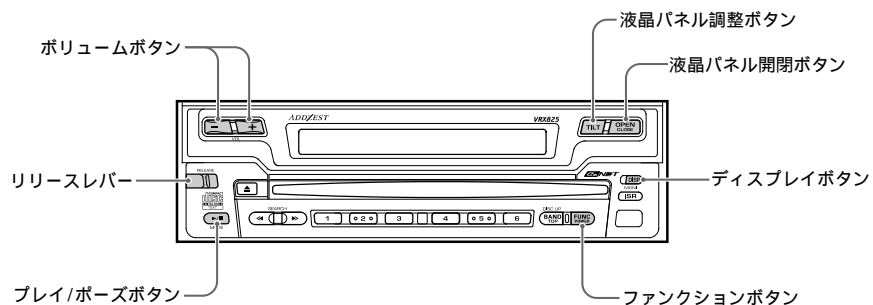
■ 各部の名称とはたらき

液晶パネルオープン状態における操作の概要



本機
の
操
作

基本の操作



DCPの取り外しかた

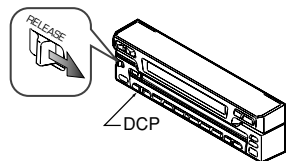
DCP (Detachable control panel) について...

このコントロールパネルは盗難防止用に取り外すことができます。車から離れるときは、DCPをお持ちになることをおすすめします。

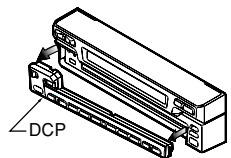
1 ファンクションボタン (**FUNC POWER**) を押し続けて (約1秒間) 電源をOFFにする

2 リリースレバー (**RELEASE**) を右方向にスライドさせてロックを解除する

手を離すとオペレーションパネル (DCP) の左側が手前に浮き上がります。

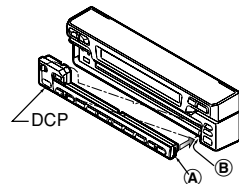


3 DCPを取外します

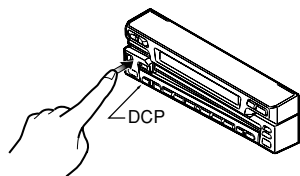


DCPの取り付けかた

1 DCPの右側の(A)部が本体のフック(B)に引っかかるようにDCPを差し込む



2 DCPの左側をロックするまで本機に押し込む



3 ファンクションボタン (**FUNC POWER**) を押し、電源をONにする

⚠ 注意

- DCPは衝撃に弱いです。取り外した後は、落としたり強い衝撃を与えないようご注意ください。
- リリースレバーをスライドさせてロックを解除したままになっていると、車の振動でDCPが落ちる場合があります。

す。DCPの故障の原因となりますので、DCPを取外して保管してください。

⚠ ご注意

DCPが汚れている場合、乾いた柔らかい布で拭いてください。

電源を入れる

1 ファンクションボタン (**FUNC POWER**) を押し

前回の操作終了時のモードになります。

⚠ ご注意

- バッテリー上がり防止のため、本機の場合は、できるだけエンジンをかけた状態で行ってください。
- システムチェック画面が表示されたときは、ファンクションボタンを数回押ししてください。詳しくは13ページをご覧ください。

電源を切るには...

ファンクションボタンを押し続け(約1秒間)てください。

音量を調整する

1 ボリュームボタンを押す

小さくなります  大きくなります

ディスプレイに音量レベルを表示します。音量調整範囲は0~33です。

⚠ 注意

運転中は、車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

消音(ミュート)する

1 プレイ/ポーズボタン (**MUTE**) を押し

ディスプレイに「MUTE」を表示します。

通常の音量に戻すには...

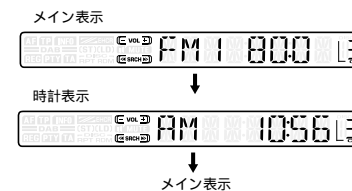
もう一度ミュートボタンを押ししてください。

インフォメーションパネルのディスプレイ表示を切り換える

インフォメーションパネルのディスプレイは液晶パネルが収納されているときに表示します。

1 ディスプレイボタン (**DISP**) を押し

ディスプレイボタンを押すたびに、次のよう切り換えます。



■ 基本の操作



液晶パネルを立ち上げる

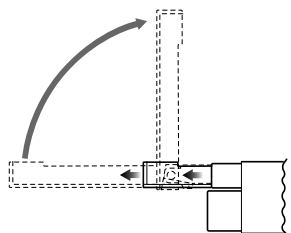


警告

液晶パネル作動時は、液晶パネルと、本体や車側インパネに手や指をはさまないようにご注意ください。

1 液晶パネル開閉ボタン()を押す

液晶パネルが自動的に出て立ち上がり、前回OFFしたモードを表示します。



・液晶パネルの開閉動作中はLEDが点滅します。

ご注意

・途中で止まったときには、いったん液晶パネル開閉ボタンを押して収納し、もう1度ボタンを押して立ち上げてください。

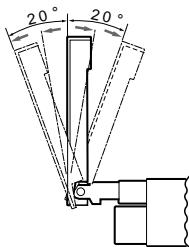
液晶パネルの角度等を調整する

本機の取付角度または車内に差し込む光線に合わせて、液晶パネル面の角度あるいは取付面からの液晶パネルの突き出し量を調整できます。

角度を調整するには

1 液晶パネル調整ボタン()を押す

ボタンを押すたびに、液晶パネルが前方または後方に最大約20°傾きます。調整した角度はメモリーされます。



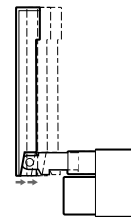
ご注意

・液晶パネルを手を持って可動させないでください。

スライド位置を調整するには

1 液晶パネル調整ボタン()を押し続け、ピツとなったら指を離す

液晶パネルが前方または後方にスライドします。調整したスライド位置はメモリーされます。



液晶パネルを水平状態にする (エアコン操作モード)

液晶パネルがエアコン操作の障害となる取付のときに、一時的に液晶パネルを水平状態にしてエアコン操作をすることができます。

1 液晶パネル立ち上げ状態のときに、液晶パネル開閉ボタン()を押し続け、ピツとなったら指を離す

液晶パネルが水平状態になります。

- ・水平状態のときに、もう一度液晶パネル開閉ボタンを押すと元の位置に戻ります。
- ・水平状態で約10秒間ボタン操作がない場合、警告音が鳴り元の位置に戻ります。

液晶パネルを収納する

1 液晶パネル開閉ボタン()を押す

液晶パネルが自動的に収納されます。

ご注意

・長時間使用しないときや車から離れるときは、必ず液晶パネルを本体に収納してください。

画面表示をOFFする

1 ディスプレイボタン()を押し続ける(約1秒間)

画面表示をONするには

いづれかのボタンを押すか、画面に触れてください。

オーディオ・テレビ画面にする (前回終了時ナビゲーションモードの場合)

1 NAVI/AV切換ボタン()を押す

ナビゲーション接続時に、ナビゲーションモードとオーディオ・テレビモードに切り換わります。

■ 基本の操作



モードを選ぶ

1 ファンクションボタン (FUNC POWER) を押す

ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。

ラジオ → CD → (MD) → (CDチェンジャー)
↑
ビジュアル ← TV ← (MDチェンジャー)

メニュー画面を表示するには...

画面に触れてください。

選択したモードに対応したメニュー画面を表示します。



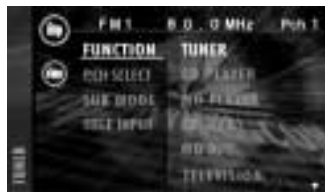
タッチキーでモードを選ぶには...

「FUNCTION」キーに触れてサブメニューを表示し、サブメニューの各モードキーに触れてください。(接続機器のみ表示します。)

サブメニューのモード表示が6以上の場合には...

「FUNCTION」キーにもう一度触れてください。

表示されなかった接続機器のモードキーを表示します。



TUNER : ラジオモード
CD PLAYER : CDモード
MD PLAYER : MDモード
CD A/C : CDチェンジャーモード
MD A/C : MDチェンジャーモード
TELEVISION : TVモード
VISUAL : ビジュアルモード (VTR等)

メイン画面に戻すには...

「RTN」キーに触れてください。

時刻を合わせる

CeNET結線対応のナビゲーション接続時は、時刻データがナビゲーションから供給されるため、時刻を合わせる必要がありません。

1 アジャストボタン (詳細 ADJ) を押す

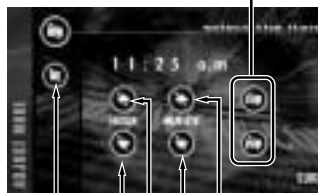
アジャストモードメニューが表示されます。



2 メニュー画面の「」キーに触れてメニュー表示を切り換え、「CLOCK」キーに触れる

時刻設定画面が表示されます。

午前(AM)・午後(PM)を設定します。



分の数字が増加します。

分の数字が減少します。

時の数字が増加します。

時の数字が減少します。

SET:入力した時刻を登録します。

3 調整キーに触れて時刻を設定する

4 「SET」キーに触れて、設定時刻を登録する

5 「RTN」キーに触れて、メイン画面に戻る

ディスプレイの背景画面を設定する

ディスプレイの背景画面について... 本機は、WALL PAPER(3種類、6色)、MOTION PATTERN(5種類)、SPRITE PATTERN(5種類)を重ね合わせることで、色々なディスプレイ表示をお楽しみいただけます。

1 ディスプレイボタン (DISP) を押す

ディスプレイアジャストメニューを表示します。



2 メニュー画面の選択キー(「WALL PAPER」等)に触れて、メニューを切り換える



WALL PAPERのパターンを選ぶには

2-1 「PATTERN」キーに触れる

WALL PAPERパターンを表示します。



2-2 お好みのパターンに触れて選ぶ

■ 基本の操作



WALL PAPERのカラーを選ぶには

2-1 「COLOR」キーに触れる

WALL PAPERのカラーを表示します。



2-2 お好みのカラーに触れて選ぶ

MOTION PATTERNを選ぶには

2-1 「MOTION PATTERN」キーに触れる

MOTION PATTERN画面を表示します。



2-2 お好みのパターンに触れて選ぶ

SPRITE PATTERNを選ぶには

2-1 「SPRITE PATTERN」キーに触れる

SPRITE PATTERN画面を表示します。



2-2 お好みのパターンに触れて選ぶ

3 「RTN」キーに2回触れて、元のモードに戻る

・ディスプレイボタンを押しても元のモードに戻ります。

ご注意

上記の画面表示はカラー画像を白黒化しているため、実際の画面と異なる部分があります。ご使用の際は実際の画面表示をご覧のうえ、選択してください。

音質を簡単に設定する (Z-エンハンサー機能)

Z-エンハンサー機能について...
本機は、3種類の音質効果をメモリーしてあります。お好みの音質を設定してお楽しみください。

DSP(DPH910) またはDVDプレーヤー(DVS815)を接続しているときは設定できません。

・DSPを接続したときは、「G.EQの操作」(62ページ)の項で調整してください。

- ・TYPE 1(Z-エンハンサー1)
: 低音を重視したサウンド
- ・TYPE 2(Z-エンハンサー2)
: 高音を重視したサウンド
- ・TYPE 3(Z-エンハンサー3)
: 低音と高音を強調したサウンド
- ・OFF(Z-エンハンサー OFF)
初期設定は「OFF」です。

1 オーディオモードボタン()を押す

オーディオモード画面になります。



2 「Z-ENHANCER」キーに触れる

Z-エンハンサー設定画面になります。



3 設定したいキー(TYPE 1等)に触れる

4 「RTN」キーに2回触れて、元のモードに戻る

・オーディオモードボタンを押しても元のモードに戻ります。

Z-エンハンサー量を調整する

Z-エンハンサー機能がON(TYPE1~3)のときに調整できます。また、液晶パネルがオープンしているときに調整できます。

1 オーディオモードボタン()を押す

オーディオモード画面になります。

2 「Z-EHCR LV」キーに触れる

Z-エンハンサー量調整画面になります。



3 調整画面の「 」キーまたは「 」キーに触れて、Z-エンハンサー量を調整する

4 「RTN」キーに2回触れて、元のモードに戻る

・オーディオモードボタンを押しても元のモードに戻ります。

■ 基本の操作



音質を調整する(バス/トレブル)

Z-エンハンサー機能が「OFF」のときに調整することができます。また、液晶パネルがオープンしているときに調整できます。

・DSPを接続したときは、「G.EQの操作」(62ページ)の項で調整してください。

1 オーディオモードボタン()を押す

オーディオモード画面になります。

2 「BAS/TREB」キーに触れる

バス/トレブル調整画面になります



3 調整画面の「」キーまたは「」キーに触れて、バスまたはトレブルを調整する

4 「RTN」キーに2回触れて、元のモードに戻る

・オーディオモードボタンを押しても元のモードに戻ります。

バランス/フェダーを調整する

1 オーディオモードボタン()を押す

オーディオモード画面になります。

2 「BAL/FAD」キーに触れる

バランス/フェダー調整画面になります



3 調整画面の「」キーまたは「」キーに触れて、バランスまたはフェダーを調整する

4 「RTN」キーに2回触れて、元のモードに戻る

・オーディオモードボタンを押しても元のモードに戻ります。

ラウドネス効果をON/OFFする

小音量でお聴きになるときは...
小音量でお聴きになるときは、低音を強調するラウドネスの自然な音質をおすすめします。

1 オーディオモードボタン()を押し続ける(約1秒間)

ONになると、「LD」を表示してラウドネスの効いた音になります。

OFFにするには...

もう一度、押し続け(約1秒間)てください。

ノンフェダー出力のレベルを調整する

・初期設定は「4」です。

1 オーディオモードボタン()を押す

オーディオモード画面になります。

2 「NON FADER VOL」キーに触れる

ノンフェダー調整画面になります



3 調整画面の「」キーまたは「」キーに触れて、出力レベルを調整する

4 「RTN」キーに触れて、元のモードに戻る

・オーディオモードボタンを2回押しても元のモードに戻ります。

タイトルリストから演奏する

タイトルリスト演奏について...

ラジオ/TVモードあるいはCD/MDチェンジャーモード時にタイトルリストを表示させてお好みの放送局あるいはディスクを演奏することができます。

1 画面に触れてメニュー画面を表示する



2 メニュー画面の「P.CH SELECT」キーに触れて、タイトルリストを表示する



CD/MDチェンジャーモードのときは...

メニュー画面の「DISC SELECT」キーに触れて、タイトルリスト画面を表示してください。

12枚CDチェンジャーモードの7~12のディスクを選ぶには...

メニュー画面の「DISC SELECT」キーにもう一度触れてください。

3 聴きたい放送局等のダイレクトキーに触れる

メイン画面に戻るには...

「RTN」キーに触れてください。

設定を変更する(アジャストモード)

環境設定の画面を選ぶ

設定項目一覧

アジャスト画面では、次の機能について設定することができます。

画面の明るさ・色あい・カラー(色の濃さ)を設定する(MONI ADJ)

TV/VTR/DVDビデオモードにおいて映像表示中(停車中)にのみ設定できます。上記以外の時は画面の明るさのみ設定ができます。

スピーカの感度を切り換える(ANA SENS)

操作時のピープ音を設定する(BEEP)

ディスプレイ表示の明るさを調整する(DIMMER LEVEL)

車のイルミネーション点灯時/非点灯時にそれぞれ独立して明るさの設定を行います。夜間などで車内が暗いときに、ディスプレイの眩しさを防ぐため、車のイルミネーション電源に連動してディスプレイ照明が減光されます。

ボタン照明を設定する(KEY ILLUMI)グリーンあるいはレッドに切り換えます。

インフォメーションパネルのボタン照明を設定する(UPPER ILLUMI)

常時ONあるいは5秒間点灯に切り換えます。

時計表示設定(CLOCK)

この機能の操作については、29ページをご覧ください。

チューナーエリアを設定する(TUNER AREA)チューナーエリア(ラジオを受信する地域)を選択すると、選局した周波数に対する放送局名を自動的に表示することができます。

TVダイバーシティを設定する(TV DIVER)TV放送受信時に、受信状態の良いアンテナに自動的に切り換えます。

テレビエリアを設定する(TV AREA)テレビエリア(テレビを受信する地域)を選択すると、選局したチャンネルに対する放送局名を自動的に表示することができます。

DSPのモードを設定する(AC PROCESSOR)DSP接続時にスタンダードモードとプロモードを切り換えます。(59ページをご覧ください。)

サウンドを設定する(SOUND)

DSP接続時に機能します。(59ページをご覧ください。)

映像入力を設定をする(CONNECT)

RGBナビゲーション(CeNET結線以外のアゼストナビゲーション)あるいはコンボジットナビ

ゲーション(他社製のナビゲーション)を接続する場合に選択します。

電話の割り込み設定をする(TEL SPEAKER)本機と別販のコミュニケーションユニットを接続することにより、電話の着信時に、車内のスピーカーから着信音および通話音声聞くことができます。また、本機では通話音声を出すスピーカーを左または右に切り換えることができます。



外部機器の機能については、外部機器が接続されているときに表示します。

画面の明るさ・色あい・色の濃さを設定する(MONI ADJ)

TV/VTR/DVDビデオモードにおいて停車してパーキングブレーキを引いたときのみ設定できます。その他の時はBRIGHTのみ設定できます。

初期設定は<中間>です。

1 アジャストボタン(詳細ADJ)を押してアジャスト画面を表示する

2 「MONI ADJ」キーに触れる



3 調整キー(「BRIGHT」、「HUE」、「COLOR」)に触れる

・走行中は明るさ調整画面(BRIGHT)を表示します。

4 「-」キーまたは「+」キーに触れて調整する

調整項目	-	+
BRIGHT(明るさ)	暗くなる	明るくなる
HUE(色あい)	赤みがかかる	緑がかかる
COLOR(カラー)	薄くなる	濃くなる

続けて色合い、カラーを設定する場合は「HUE」、「COLOR」キーに触れます。

5 「RTN」キーに触れる

アジャストメニュー画面に戻ります。もう一度「RTN」キーに触れるとメイン画面に戻ります。

MOTION/SPRITEパターンの感度を切り換える(ANA SENS)

初期設定は<HIGH>です。

1 アジャストボタン(詳細ADJ)を押してアジャスト画面を表示する

2 「ANA SENS」キーに触れる



3 設定キー(「HIGH」、「MID」、「LOW」)に触れる

4 「RTN」キーに触れる

メイン画面に戻ります。

操作時のピープ音を設定する(BEEP)

初期設定は<ON>です。

1 アジャストボタン(詳細ADJ)を押してアジャスト画面を表示する

2 「BEEP」キーに触れる



次ページに続く

本機の操作

■ 設定を変更する(アジャストモード)

3 設定キー(「ON」、「OFF」)に触れる

4 「RTN」キーに触れる

メイン画面に戻ります。


ピープ音の設定をOFFにしても、オペレーションパネルがエアコン操作モードから元の位置に戻るときは、警告音が鳴ります。

ディスプレイ表示の明るさを調整する(DIMMER LEVEL)

ディマー機能について...

夜間などで車内が暗いときに、ディスプレイの眩しさを防ぐため、車のイルミネーション電源に連動してディスプレイ照明を減光することができます。

初期設定は、
ライト消灯時：一番明るい設定
ライト点灯時：中間の明るさ

1 アジャストボタン()を押してアジャスト画面を表示する

2 「DIMMER LEVEL」キーに触れる




3 調整キー(「-」、「+」)に触れる

4 「RTN」キーに触れる

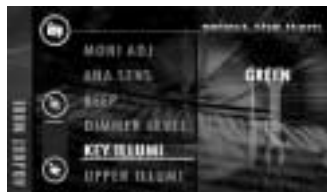
アジャストメニュー画面に戻ります。もう一度「RTN」キーに触れるとメイン画面に戻ります。

ボタン照明を設定する(KEY ILLUMI)

初期設定は、<GREEN>(グリーン)です。

1 アジャストボタン()を押してアジャスト画面を表示する

2 「KEY ILLUMI」キーに触れる




3 設定キー(「GREEN」、「RED」)に触れる

4 「RTN」キーに触れる

メイン画面に戻ります。

インフォメーションパネルのボタン照明を設定する(KEY ILLUMI)

初期設定は、<常時ON>です。

1 アジャストボタン()を押してアジャスト画面を表示する

2 「UPPER ILLUMI」キーに触れる



次ページに続く➡

3 設定キー(「常時ON」、「5秒OFF」)に触れる

- ・常時ON : 液晶パネルオープン時、常時ONする設定
- ・5秒OFF : 液晶パネルオープン時、5秒間ONした後OFFする設定

4 「RTN」キーに触れる


メイン画面に戻ります。

チューナーエリアを設定する(TUNER AREA)

チューナーエリアについて...

チューナーエリア(ラジオを受信する地域)を選択すると、選局した周波数に対する放送局名を自動的に表示することができます。

初期設定は「広域 関東」です。

1 アジャストボタン()を押してアジャスト画面を表示する

2 「」キーに触れて、アジャスト画面を切り換える

3 「TUNER AREA」キーに触れる



4 エリアキー(「札幌」等)に触れる

チューナーエリアが設定されます。

・次の画面表示に切り換えるときは、「」キーを、戻るときは「」キーを押してください。

・受信エリアは以下の通りです。

USER TITLE(タイトル入力された放送局名)		
札幌	東北	広域 関東
広域 東海	北陸	近畿
中国	四国	九州
沖縄		

・オリジナルの放送局名を表示する場合は、「USER TITLE」(タイトル入力された放送局名)にしてください。また、オリジナルの放送局名をつけるときは、「タイトルをつける(タイトル入力)」(52ページ)をご覧ください。

5 「RTN」キーに触れる

アジャストメニュー画面に戻ります。もう一度「RTN」キーに触れるとメイン画面に戻ります。

イーージーインプット機能について...

チューナーエリアを選択してから、「MEMO」キーに触れ続ける(約2秒間)と、選択したチューナーエリアの放送局名と一致するチャンネルがプリセットメモリに記憶されればユーザーメモリへ登録されます。「タイトルをイーージーインプットする」(53ページ)をご覧ください。

■ 設定を変更する(アジャストモード)


TVダイバーシティを設定する(TV DIVER)

TVダイバーシティについて...

TV放送受信時に、受信状態の良いアンテナに自動的に切り換えます。

初期設定は<ON>です。

- 接続するアンテナが4本未満の場合は、取付説明書をご覧のうえ所定のアンテナジャックに接続してください。設定を間違えるとノイズの原因となります。

1 アジャストボタン()を押してアジャスト画面を表示する

2 「」キーに触れて、アジャスト画面を切り換える

3 「TV DIVER」キーに触れる



4 設定キー(「ON」、「OFF」)に触れる

5 「RTN」キーに触れる


メイン画面に戻ります。

テレビエリアを設定する(TV AREA)

テレビエリアについて...

テレビエリア(テレビを受信する地域)を選択すると、選局したチャンネルに対する放送局名を自動的に表示することができます。

初期設定は<関東>です。

1 アジャストボタン()を押してアジャスト画面を表示する

2 「」キーに触れて、アジャスト画面を切り換える

3 「TV AREA」キーに触れる



4 受信エリアキー(「札幌」等)に触れる

TVエリアが設定されます。

- 次の画面表示に切り換えるときは、「」キーを、戻るときは「」キーを押してください。
- 受信エリアについては次ページをご覧ください。
- オリジナルの放送局名を表示する場合は、「USER TITLE(タイトル入力された放送局名)にしてください。また、オリジナルの放送局名をつけるときは、「タイトルをつける(タイトル入力)」(52ページ)をご覧ください。

5 「RTN」キーに触れる

アジャストメニュー画面に戻ります。もう一度「RTN」キーに触れるとメイン画面に戻ります。

イーージーインプット機能について...

テレビエリアを選択してから、「MEMO」キーに触れ続ける(約2秒間)、選択したテレビエリアの放送局名と一致するチャンネルがプリセットメモリされていればユーザーメモリに登録されます。

「タイトルをイーージーインプットする」(53ページ)をご覧ください。

表示名一覧

USER	TITLE(タイトル入力された放送局名)	
札幌	東北A(*)	仙台
東北B(*)	福島	信越
関東	静岡	東海・中部
北陸	近畿	山陰
岡山	山陽	四国A(*)
四国B(*)	九州A(*)	九州B(*)
九州C(*)	鹿児島	沖縄

* A,BまたはA,B,Cと区分けしているエリア表示については、以下の放送局名を参考に設定してください。

・東北A

1ch(青森放送)	3ch(NHK)
4ch(NHK)	5ch(NHK教育)
6ch(IBC岩手)	8ch(NHK教育)
33ch(めんこいテレビ)	34ch(青森朝日)
35ch(テレビ岩手)	38ch(青森テレビ)

・東北B

2ch(NHK教育)	4ch(NHK教育)
8ch(NHK)	9ch(NHK)
10ch(山形放送)	11ch(秋田放送)
31ch(秋田朝日放送)	36ch(TVユー山形)
37ch(秋田テレビ)	38ch(山形テレビ)

・四国A

1ch(四国放送)	3ch(NHK)
19ch(テレビ瀬戸内)	29ch(山陽放送)
31ch(岡山放送)	33ch(瀬戸内海放送)
37ch(NHK)	38ch(NHK教育)
39ch(NHK教育)	41ch(西日本放送)

・四国B

2ch(NNH)	4ch(NHK)
6ch(NHH)	8ch(高知放送)
10ch(南海放送)	25ch(愛媛朝日放送)
29ch(アイテレビ)	37ch(愛媛テレビ)
38ch(テレビ高知)	

・九州A

1ch(九州朝日)	3ch(NHK)
4ch(RKB毎日)	6ch(NHK教育)
9ch(テレビ西日本)	19ch(TXN九州)
36ch(佐賀テレビ)	37ch(福岡放送)
38ch(NHK)	40ch(NHK教育)

・九州B

1ch(NHK教育)	2ch(NHK教育)
3ch(NHK)	5ch(長崎放送)
9ch(NHK)	11ch(熊本放送)
16ch(熊本朝日)	22ch(熊本県民)
25ch(長崎国際)	27ch(長崎文化)
34ch(テレビ熊本)	37ch(テレビ長崎)


・九州C

3ch(NHK)	5ch(大分放送)
8ch(NHK)	10ch(宮崎放送)
12ch(NHK教育)	24ch(大分朝日)
35ch(テレビ宮崎)	36ch(テレビ大分)

■ 設定を変更する(アジャストモード)

外部接続機器を設定する (CONNECT)

初期設定は「未接続」です。
CeNET結線対応のナビゲーション接続時は、設定する必要がありません。

1 アジャストボタン()を押してアジャスト画面を表示する

2 「」キーに触れて、アジャスト画面を切り換える

3 「CONNECT」キーに触れる



4 設定キー(「未接続」、「RGB接続」、「コンポジット接続」)に触れる

未接続:
ナビゲーションが接続されていないとき。

RGB接続:
CeNET結線対応以外のアゼストナビゲーションを接続したとき。

- ・本機でナビゲーションの操作はできません。また、経路誘導等の音声案内は本機から出力できません。
- ・ナビゲーションの映像出力はメインユニット背面のナビゲーション(RGB)用コードに接続してください。
- ・ナビゲーション用別販スピーカー(SPB-602)を使用してください。

コンポジット接続:
他社製ナビゲーションを接続したとき。

5 「RTN」キーに触れる

アジャストメニュー画面に戻ります。もう一度「RTN」キーに触れるとメイン画面に戻ります。


電話の割り込みを設定する (TEL SPEAKER)

電話割り込み機能について...

本機と別販のDVDナビゲーションと接続するコミュニケーションユニットを接続することにより、電話の着信時に、車内のスピーカーから着信音および通話音声聞くことができます。

また、本機では通話音声を出すスピーカーを左または右に切り換えることができます。

初期設定は<左スピーカー>です。左ハンドル車でご使用の場合には、必ず<右スピーカー>に切り換えてください。初期設定のまま使用しますと、ハウリングを起こすことがあります。

1 アジャストボタン()を押してアジャスト画面を表示する

2 「」キーに触れて、アジャスト画面を切り換える

3 「TEL SPEAKER」キーに触れる

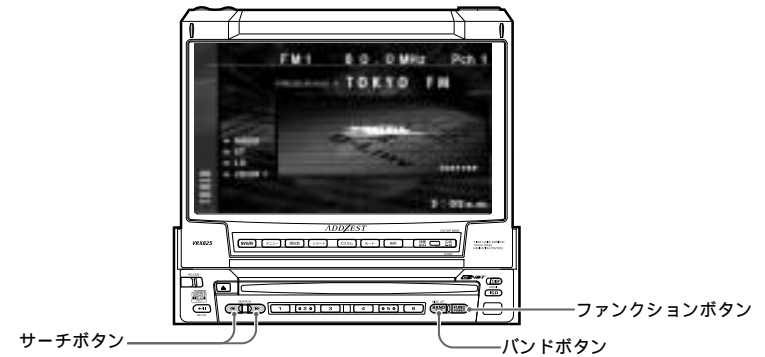


4 設定キー(「右スピーカー」、「左スピーカー」)に触れる

5 「RTN」キーに触れる

アジャストメニュー画面に戻ります。もう一度「RTN」キーに触れるとメイン画面に戻ります。

ラジオを聴く



ラジオモードを選ぶ

- 1 ファンクションボタン(**FUNC POWER**)を押す
または、画面に触れてメニュー画面を表示させ、メニュー画面の「FUNCTION」キーに触れる

エリアセレクト機能について...
選局した放送局に対して、自動的に放送局名を表示する機能です。
初期設定は、「広域関東」です。
チューナーエリアの選択については、「チューナーエリアを設定する(TUNER AREA) (37ページ)をご覧ください。

自動選局(シーク)と手動選局(マニュアル)を切り換える

- 1 バンドボタン(**BAND TOP**)を押し続けて(約1秒間)、選局モードを切り換える

手動選局(MANUを表示)
(マニュアル)

↑ ↓
自動選局(MANUの表示が消える)
(シーク)

受信バンドを選ぶ

- 1 バンドボタン(**BAND TOP**)を押す
または、メニュー画面の「BND」キーに触れて、聴きたいバンドを選ぶ
触れるたびに、バンドが切り換わります。

FM 1 → FM 2 → AM 1 → AM 2

メニュー画面を表示するには...
画面に触れてください。

自動選局する(シーク選局)

- 1 バンドボタン(**BAND TOP**)を押し続けて(約1秒間)、自動選局モードにする

「MANU」表示が消えていると、自動選局です。

- 2 サーチボタン(**SEARCH**)を押す

放送を受信できる周波数で選局が止まります。

ラジオを聴く



手動選局する(マニュアル選局)

- 1 バンドボタン() を押し続けて(約1秒間)、手動選局モードにする

自動/手動インジケータが「MANU」表示になると、手動選局です。

- 2 サーチボタン() ボタンを押す

放送を受信できる周波数に合わせてください。

プリセット選局する

プリセット選局について...

あらかじめメモリーしておき、ワンタッチで放送局を呼び出す機能です。メモリーのしかたについては、「プリセットメモリーする」(次項)をご覧ください。

- 1 バンドボタン() を押しして受信バンドを切り換える

- 2 ダイレクトボタン() を押す

ダイレクトボタンにメモリーされているチャンネルを受信します。

ご注意

ダイレクトボタン() を押し続ける(約2秒間)と、いま見ている放送がメモリーされます。

プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて...
プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2の各6局、計24局です。

- 1 バンドボタン() を押しして受信バンドを切り換える

- 2 自動選局または、手動選局でメモリーしたい放送に合わせる



- 3 ダイレクトボタン() を押し続ける(約2秒間)

ピープ音が「ON」に設定されているときは、ピープ音が鳴ります。

自動メモリーさせる(オートストア機能)

オートストア機能について...

自動受信した放送を、6局まで自動的にプリセットメモリーします。

- 1 画面に触れてメニュー画面を表示する
- 2 メニュー画面の「SUB MODE」キーに触れて、サブメニューを表示する
- 3 サブメニューの「AUTO STORE」キーに触れ続ける(約2秒間)



受信した放送を、ダイレクトキー(1~6)にメモリーしていきます。

- ・自動メモリーすると、これまでのプリセットメモリーは消去されます。
- ・メモリーできる放送が6局に満たなかった場合、メモリーされなかったダイレクト表示には、それまでのメモリーが残ります。

聴きたい放送局を探す(プリセットスキャン)

プリセットスキャンについて...

プリセットスキャンは、プリセットキーにメモリーされている放送局を順に受信します。

- 1 メニュー画面の「SUB MODE」キーに触れて、サブメニューを表示する
- 2 サブメニューの「PRESET SCAN」キーに触れる

プリセットメモリーされている放送局を、順に約7秒ずつ受信します。

探している放送を受信したら...

もう一度、「PRESET SCAN」キーに触れてください。その時に受信中の放送になります。

特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能)

ISR (Instant Station Recall) 機能について...

どのモードからでもすぐに特定の放送局を呼び出す機能です。交通情報など、運転中に聴きたい情報などをすばやく選局できます。初期設定では、AM1620kHzの交通情報をメモリーしています。

- 1 ISRボタン() を押す

ISRにメモリーされている放送局を選局します。

ISRにメモリーするには...

メモリーしたい放送局を選局し、ISRボタンを押し続ける(約2秒間)

ISRにメモリーされ、ISR機能状態になります。

元のモードに戻すには...

もう一度、ISRボタンを押してください。

テレビを見る



走行中のテレビ映像について...
走行中はテレビ映像を消す安全設計となっており音声のみ聴くことができます。車が停車して、パーキングブレーキを引いている時のみテレビの映像を見ることができます。

ご注意

パーキングブレーキを解除すると、「AUDIO ONLY」画面になります。

警告

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。

テレビモードを選ぶ

- 1 ファンクションボタン(**FUNC POWER**)を押す
または、メニュー画面の「FUNCTION」キーに触れてサブメニューを表示させ、「TELEVISION」キーに触れる



- テレビ映像表示中は、2回画面に触れるとメニュー画面を表示します。
- サブメニューの「RTN」キーに触れると元の画面に戻ります。

受信バンドを選ぶ

- 1 バンドボタン(**BAND TOP**)を押す
または、メニュー画面の「BAND」キーに触れて、聴きたいバンドを選ぶ

触れるたびに、バンドが切り換わりません。

TV 1 → TV 2

自動選局(シーク)と手動選局(マニュアル)を切り換える

- 1 バンドボタン(**BAND TOP**)を押し続けて(約1秒間)、選局モードを切り換える
手動選局(MANUを表示)
(マニュアル)
↓
自動選局(MANUの表示が消える)
(シーク)

自動選局する(シーク選局)

- 1 バンドボタン(**BAND TOP**)を押し続けて(約1秒間)、自動選局モードにする
「MANU」表示が消えていると、自動選局です。
- 2 サーチボタン(**SEARCH**)を押す
放送を受信できるチャンネルで選局が止まります。

手動選局する(マニュアル選局)

- 1 バンドボタン(**BAND TOP**)を押し続けて(約1秒間)、手動選局モードにする
手動/自動選局表示が「MANU」表示になると、手動選局です。
- 2 サーチボタン(**SEARCH**)を押す
放送を受信できるチャンネルに合わせてください。

プリセット選局する

プリセット選局について...
あらかじめメモリーしておき、ワンタッチで放送局を呼び出す機能です。メモリーのしかたについては、「プリセットメモリーする」(次項)をご覧ください。

- 1 バンドボタン(**BAND TOP**)を押して受信バンドを切り換える
- 2 ダイレクトボタン(**1** ~ **6**)を押す

ダイレクトボタンにメモリーされているチャンネルを受信します。

ご注意

ダイレクトボタン(**1** ~ **6**)を押し続ける(約2秒間)と、いま見ている放送がメモリーされます。

プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて...
プリセットメモリーできるのは、TV1、TV2、の各6局、計12局です。

- 1 自動選局または手動選局でメモリーしたい放送に合わせる
SEARCH
◀ (**SEARCH**) ▶
- 2 ダイレクトボタン(**1** ~ **6**)を押し続ける(約2秒間)
ピープ音が「ON」に設定されているときは、ピープ音が鳴ります。

■ テレビを見る



自動メモリーさせる(オートストア機能)

オートストア機能について...
自動受信した放送を、6局まで自動的にプリセットメモリーします。

- 1 画面に触れて、メニュー画面を表示する
- 2 メニュー画面の「SUB MODE」キーに触れて、サブメニューを表示する



- 3 サブメニューの「AUTO STORE」キーに触れ続ける(約2秒間)

受信した放送を、ダイレクトボタン(1~6)にメモリーしていきます。

- ・自動メモリーすると、これまでのプリセットメモリーは消去されます。
- ・メモリーできる放送が6局に満たなかった場合、メモリーされなかったダイレクトキー表示には、それまでのメモリーが残ります。

見たい放送を探す(プリセットスキャン)

プリセットスキャンについて...
プリセットスキャンは、プリセットキーにメモリーされているチャンネルを順に受信します。

- 1 画面に触れて、メニュー画面を表示する
- 2 メニュー画面の「SUB MODE」キーに触れて、サブメニューを表示する
- 3 サブメニューの「PRESET SCAN」キーに触れる

プリセットメモリーされている放送局を、順に7秒ずつ受信します。

探している放送を受信したら...

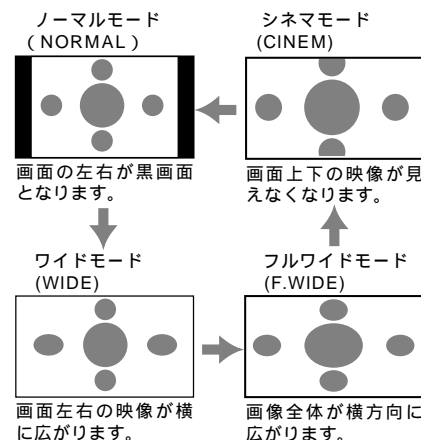
もう一度「PRESET SCAN」キーに触れてください。その時に受信中の放送になります。

画面サイズを切り換える

この機能はTV/VTR/DVDビデオモードのときに、パーキングブレーキを引いて停車中のみ操作できます。

- 1 ディスプレイボタン(DISP)を押す

ディスプレイボタンを押すたびに、次のように画面サイズが切り換わります。



・タッチキー等のメニュー表示はフルワイドモードになります。

参考

ワイド画面でない通常の4:3の映像をワイドモードあるいはフルワイドモードを利用して、ワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えます。製作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、ノーマルモードでご覧になれます。

副音声を楽しむ

- 1 メニュー画面の「SUB MODE」キーに触れてサブメニューを表示する
- 2 サブメニューの「SUB ON」キーに触れる

キーに触れるたびに、「SUB ON」/「SUB OFF」が切り換わります。

- ・SUB ON : 副音声を再生します。
- ・SUB OFF : 主音声を再生します。

ステレオ放送をモノラルにする

- 1 メニュー画面の「SUB MODE」キーに触れて、サブメニューを表示する
- 2 サブメニューの「MONO ON」キーに触れる

キーに触れるたびに、「MONO ON」/「MONO OFF」が切り換わります。

- ・MONO ON : モノラル音声を再生します。
- ・MONO OFF : ステレオ放送時、ステレオ音声を再生します。

VTRを見る

TVチューナーに接続したVTR映像を入力することも可能です。

- 1 メニュー画面の「SUB MODE」キーに触れて、サブメニューを表示する
- 2 サブメニューの「EXTRA SELECT」キーに触れる

「VTR」キーに触れると、TVチューナーに接続したVTR画面に切り換わります。

「TELEVISION」キーに触れると、元の画面に戻ります。

CDを聴く



CDを入れる

1 CD挿入口にCDを入れる

自動的に演奏がはじまります。

- すでにCDが入っている場合は入れられません。無理に入れしないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出していたり、はがした痕があるCDは入れないでください。CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

- 本機は、マークまたはマーク表示のないCDは使用できません。また、ハート型や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。
- CD-Rで記録されたCDディスクは使用できない場合があります。また、CD-RWで記録されたCDディスクは使用できません。

シングルCDについて...

シングルCD(8cmCD)を再生するときは、アダプターを使用しないでください。シングルCDを挿入するときは、CD挿入口の中央に入れてください。

ディスク・イン・プレイ機能について...

本機の電源が入っていない状態からでも(車側のアクセサリ電源ON時)、CDを入れると、自動的に電源が入り演奏をはじめます。

ディスクを取り出す

1 イジェクトボタン()を押す

CDがイジェクトされます。

- イジェクトされたCD(12cm)をそのままにしておくと、約15秒後にCDを引き込みます。(オートリロード)
- シングルCDは、オートリロードされませんので、必ず取り出してください。
- オートリロード前に無理にCDを押し込むと、ディスク表面にキズのつく恐れがあります。

バックアップ・イジェクト機能について...

アクセサリ(ACC)電源がOFFの状態または本機の電源がOFFの状態からでも、イジェクトボタンを押すことにより、CDを取り出すことができます。

すでに入っているディスクを聴く

1 ファンクションボタン()を押して、CDモードに切り換える

または、画面に触れてメニュー画面を表示「FUNCTION」キーに触れてサブメニュー画面を表示「CD PLAYER」キーに触れて選ぶ



CDモードになると、自動的に演奏がはじまります。CDが挿入されていないときは、「NO DISC」を表示します。

曲を選ぶ

1 次の曲を聴くときは、右側のサーチボタン()を押す

前の曲を聴くときは、左側のサーチボタン()ボタンを2回押す

- 右側のサーチボタン()を押すと次の曲を演奏します。さらに押すと、押した回数だけ先の曲を演奏します。
- 左側のサーチボタン()を押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲を演奏します。

演奏を止める(一時停止)

1 プレイポーズボタン()を押し続ける(約1秒間)

ディスプレイに「PAUSE」を表示します。演奏を聴きたいときは、もう一度プレイ/ポーズボタンを押し続けてください。

早送り/早戻しする

1 早送りするとき、右側のサーチボタン()を押し続ける

早戻しするとき、左側のサーチボタン()ボタンを押し続ける

聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について...

曲の頭を約10秒間ずつ演奏します。

1 画面に触れてメニュー画面を表示する

2 メニュー画面の「SUB MODE」キーに触れて、サブメニューを表示する



3 サブメニューの「TRACK SCAN」キーに触れる



「TRACK SCAN」を表示し、スキャン演奏がはじまります。

探している曲が演奏されたら...

もう一度、「TRACK SCAN」キーに触れてください。

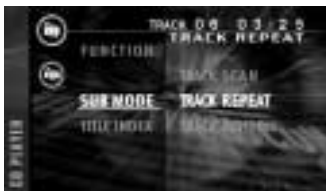
「TRACK SCAN」表示が消えて演奏している曲から通常の演奏になります。



1 曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

リピート演奏について...
いま演奏している曲を繰り返し演奏します。

- 1 画面に触れてメニュー画面を表示する
- 2 メニュー画面の「SUB MODE」キーに触れて、サブメニューを表示する
- 3 サブメニューの「TRACK REPEAT」キーに触れる



「TRACK REPEAT」を表示し、リピート演奏がはじまります。

リピートを解除するには...
もう一度、「TRACK REPEAT」キーに触れてください。
「TRACK REPEAT」表示が消えて演奏している曲から通常の演奏になります。

ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

ランダム演奏について...
演奏中のCDの全曲を順不同に演奏します。

- 1 画面に触れてメニュー画面を表示する
- 2 メニュー画面の「SUB MODE」キーに触れて、サブメニューを表示する
- 3 サブメニューの「TRACK RANDOM」キーに触れる



「TRACK RANDOM」を表示し、リピート演奏がはじまります。

ディスクの曲順の演奏に戻すには...
もう一度、「TRACK RANDOM」キーに触れてください。
「TRACK RANDOM」表示が消えて演奏している曲から通常の演奏になります。

ディスクタイトルまたは曲(トラック)タイトルをスクロールさせる

CDテキストのタイトルについて...
CDテキストにあらかじめ登録されているディスクタイトル/トラックタイトルを、本機のディスプレイに表示します。
・タイトルが入力されていないディスクの場合は、「NO TITLE」と表示されません。

4 「SCROLL」キーに触れる

「SCROLL」キーの表示されているタイトルがスクロールします。

- ・ディスクタイトル(またはトラックタイトル)のスクロールを終えると、最初のタイトル表示状態になります。
- ・CDテキストの場合は、ディスクタイトル、トラックタイトルおよびアーティスト名を表示します。
- ・タイトル表示の文字数は10文字です。

- 1 画面に触れてメニュー画面を表示する
- 2 メニュー画面の「TITLE INDEX」キーに触れて、タイトルインデックス画面にする



タイトル表示部
「USER」キー
「SCROLL」キー

元のメイン画面に戻すには...

「RTN」キーに2回触れてください。
メイン画面に戻ったときのタイトル表示は、手順4でスクロールさせたタイトルを表示します。(メイン画面におけるタイトルはスクロールしません。)

ユーザータイトル画面表示をディスクタイトル画面に切り換えるには...

ユーザータイトル画面のときは、画面左側の「TEXT」キーに触れてディスクタイトル画面にしてください。



「TEXT」キー

- 3 スクロールさせたいタイトル表示部に触れる

タイトル表示右側の「SCROLL」キーが選択したタイトル表示部に移動します。

タイトルをつける

タイトルを入力する

タイトル入力について...

ラジオの放送曲やテレビの放送局及びCD(チェンジャー時)にタイトルを付け、受信時やCDチェンジャー演奏時に表示させることができます。(ラジオ、テレビ、CDチェンジャーモード時)入力できるタイトル数は、次の通りです。

- 放送局名(チューナー) : 30タイトル
- テレビ放送名 : 15タイトル
- CD : 50タイトル
- 6枚チェンジャーにメモリーできるCDのディスク名 : 60タイトル
- 12枚チェンジャーにメモリーできるCDのディスク名 : 50タイトル (CDR655Tzは100タイトル)

1 タイトルをつけたいラジオ局、テレビ局を受信する

またはCDディスクを演奏する

ご注意

ラジオ、テレビでタイトルが入力できるのは、エリアセレクトでユーザータイトルを選択している時だけです。

- チューナーエリアの切り換えかたは、「チューナーエリアを設定する」(37ページ)「テレビエリアを設定する」(38ページ)をご覧ください。

2 画面に触れて、メニュー画面を表示する



3 メニュー画面の「TITLE INPUT」キーに触れる

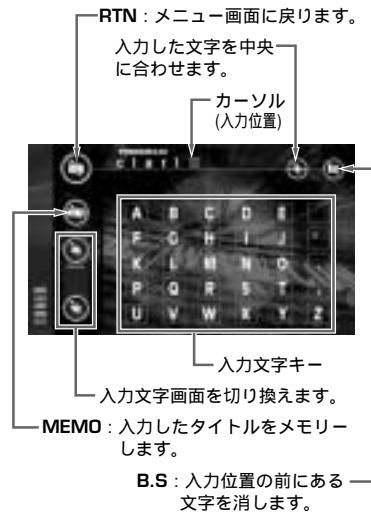
CDモードまたはCDチェンジャーモードの場合には...

メニュー画面の「TITLE INDEX」キーに触れてタイトルインデックス画面に切り換え、「INPUT」キーに触れてください。



「INPUT」キー

タイトル入力画面になります。



4 画面に表示されている入力文字キーに触れて入力する

- 入力できる文字数は、10文字です。

5 タイトルを入力したら「MEMO」キーに触れ続ける(約2秒間)

タイトルがメモリーされ、元のモード画面に戻ります。

ご注意

ノイズなどの原因によって、本機のマイコンが誤動作したときなどに、リセットボタンを押すと、本機にメモリーされていたタイトルなどのユーザーメモリーはすべて消去されますのでご注意ください。

入力文字種類

- アルファベット大文字
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
- アルファベット小文字
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
- 数字/記号
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 . , ' : ; ! ? * # \$ % & * + - x / = () () " ' ~ - - + ! - + ! * * * * * ◆ # ♪ ♫ ♪ ♪ ♪
- カタカナ
アイエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヨンアイウエオツヤユヨ・ー「」

タイトルメモリーがいっぱいになると...

- ラジオ局タイトルの場合プリセットチャンネルとISRにメモリーされていないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。
- ディスクタイトルの場合演奏回数の少ないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。

タイトルをイーザーインプットする

イーザーインプットについて...

本機は、チューナーエリアにメモリーされている周波数とタイトルのうちプリセットチャンネルにメモリーされている分を「USER TITLE」にコピーすることができます。

1 ラジオモードまたはテレビモードに切り換えて、アジャストボタンを押す

- 受信エリアについては、放送局の「チューナーエリアを設定する」(37ページ)「テレビエリアを設定する」(38ページ)をご覧ください。

2 「TUNER AREA」キーまたは「TV AREA」キーに触れて、設定するエリアを選ぶ



- 「RTN」キーに触れると、アジャストメニュー画面に戻ります。

3 イーザーインプットしたいエリア表示キーに触れる

4 「MEMO」キーに触れ続ける(約2秒間)

選択したエリアのタイトルを「USER TITLE」に登録します。

5 「RTN」キーに2回触れて、元のモードに戻る

- イーザーインプットをすると、これまでのユーザータイトルメモリーは消去されます。

■ タイトルをつける

タイトルを削除する

1 削除したいタイトルのラジオ局、テレビ局を受信する
またはCDを演奏する

2 画面に触れて、メニュー画面を表示する

3 メニュー画面の「TITLE INPUT」キーに触れる

CDモードまたはCDチェンジャーモードの場合には...

メニュー画面の「TITLE INDEX」キーに触れてタイトルインデックス画面に切り換え、「INPUT」キーに触れてください。



「INPUT」キー

タイトル入力画面が表示されます。



「B.S.」キー

カーソル

タイトル文字

「MEMO」キー

4 タイトル入力画面の「B.S.」キーに触れて、タイトル文字を1字ずつ消去する

5 消し終わったら、「MEMO」キーに触れ続ける(約2秒間)

メイン画面に戻ります。

CD/MDチェンジャーを操作する



CD/MDチェンジャーについて...

本機は、別販のCeNET結線対応CDチェンジャーまたはMDチェンジャーを接続してコントロールできます。

CDチェンジャーについて

- CDチェンジャーにマガジンがはいていないときは、「NO MAG」、マガジン内にCDが入っていないときは、「NO DISC」と表示されます。
- ディスクNo.が点灯していないダイレクトキーに触れても受け付けません。

MDチェンジャーについて

- MDチェンジャーにMDがはいていないときは、「NO DISC」と表示されます。
- ディスクNo.が点灯していないダイレクトキーに触れても受け付けません。

タイトルのスクロールについて

CDテキストやMDにあらかじめ登録されているディスクタイトルとトラックタイトルをスクロールさせたい場合には、「ディスクタイトルまたはトラックタイトルをスクロールさせる」(51ページ)をご覧ください。


CDチェンジャー(MDチェンジャー)を2台接続したときは...

ファンクションボタンを押して演奏するチェンジャーを選択してください。

本機は、CDチェンジャー、MDチェンジャーを合わせて2台までコントロールすることができます。

設定について詳しくは、チェンジャーの取扱説明書をご覧ください。

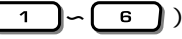
モードを選ぶ

- 1 ファンクションボタン()を押して、CDまたはMDチェンジャーモードを選ぶ

または、メニュー画面の「FUNCTION」キーに触れてサブメニューを表示させ、モードキー(「CD A/C」等)を表示して選ぶ

CD(MD)チェンジャーモードになると、自動的に演奏がはじまります。

演奏するディスクを選ぶ

- 1 ダイレクトボタン()を押す

選択したディスクNo.のCDをローディングして演奏をはじめます。

- MDが入っていないとき、またはマガジンにCDが入っていないときは、ダイレクトボタンを押しても受け付けません。
- 演奏中のCD(またはMD)をダイレクトボタンで選んだときは、そのCD(またはMD)の1曲目に戻って演奏します。
- 12枚CDチェンジャーの場合は、ダイレクトボタンを押し続けて(約1秒間)ディスクNo.7から12のディスクを選びます。
- タイトルリストから選ぶ場合には、「タイトルリストから演奏する」(33ページ)をご覧ください。

外部機器の操作

CD/MDチェンジャーを操作する



曲を選ぶ

1 次の曲を聴くときは、右側のサーチボタン(▶▶)を押す

前の曲を聴くときは、左側のサーチボタン(◀◀)を2回押す

- さらに右側のサーチボタン(▶▶)を押すと、押した回数だけ先の局を演奏します。
- 左側のサーチボタン(◀◀)を押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の局を演奏します。

消音(ミュート)するには...

プレイ/ポーズボタン(▶||)を押してください。

- 通常の音量に戻すときは、もう一度ミュートボタンを押してください。

早送り/早戻しする

1 早送りするときは、右側のサーチボタン(▶▶)を押し続ける

早戻しするときは、左側のサーチボタン(◀◀)を押し続ける

演奏を止める(一時停止)

1 プレイ/ポーズボタン(▶||)を押し続ける(約1秒間)

「PAUSE」を表示して演奏が止まります。

一時停止を解除するには...

もう一度、プレイ/ポーズボタン(▶||)を押し続け(約1秒間)てください。

聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について...
CD(MD)チェンジャー内のCDの全曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 画面に触れてメニュー画面を表示する
2 メニュー画面の「SUB MODE」キーに触れて、サブメニューを表示する



3 サブメニューの「TRACK SCAN」キーに触れる

選択したキーの色が変わり、画面に「TRACK SCN」を表示します。



探している曲が演奏されたら...

もう一度、「TRACK SCAN」キーに触れください。スキャン演奏表示が消えて、演奏中の曲から通常の演奏になります。

聴きたいディスクを探す(ディスクスキャン演奏)

ディスクスキャン演奏について...
1台のCD(MD)チェンジャーに収納されている、全ディスクの最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 画面に触れてメニュー画面を表示する
2 メニュー画面の「SUB MODE」キーに触れて、サブメニューを表示する
3 サブメニューの「DISC SCAN」キーに触れる

選択したキーの色が変わり、画面に「DISC SCAN」を表示します。

探しているCD(MD)が演奏されたら...

もう一度、「DISC SCAN」キーに触れください。ディスクスキャン演奏表示が消えて、演奏中の曲から通常の演奏になります。

1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

リピート演奏について...

いま演奏している曲を繰り返し演奏します。

1 画面に触れてメニュー画面を表示する
2 メニュー画面の「SUB MODE」キーに触れて、サブメニューを表示する

3 サブメニューの「TRACK REPEAT」キーに触れる

選択したキーの色が変わり、画面に「TRACK REPEAT」を表示します。

通常の演奏に戻すには...

もう一度、「TRACK REPEAT」キーに触れてください。

リピート演奏表示が消えて演奏中の曲から通常の演奏になります。

1枚のディスクを繰り返し聴く(ディスクリピート演奏)

ディスクリピート演奏について...
演奏中のディスクを繰り返し演奏します。

1 画面に触れてメニュー画面を表示する
2 メニュー画面の「SUB MODE」キーに触れて、サブメニューを表示する
3 サブメニューの「DISC REPEAT」キーに触れる

選択したキーの色が変わり、画面に「DISC REPEAT」を表示します。

通常の演奏に戻すには...

もう一度、「DISC REPEAT」キーに触れてください。

ディスクリピート演奏表示が消えて、演奏中の曲から通常の演奏になります。

CD/MDチェンジャーを操作する



ランダムに演奏を聴く (ランダム演奏)

ランダム演奏について...
演奏中のCDの全曲を順不同に演奏します。

- 1 画面に触れてメニュー画面を表示する
- 2 メニュー画面の「SUB MODE」キーに触れて、サブメニューを表示する
- 3 サブメニューの「TRACK RANDOM」キーに触れる

選択したキーの色が変わり、画面に「TRACK RANDOM」を表示します。

ディスクの曲順の演奏に戻すには...

もう一度、「TRACK RANDOM」キーに触れてください。
ランダム演奏表示が消えて、演奏中の曲から通常の演奏になります。

全ディスクの演奏をランダム に聴く(ディスクランダム演奏)

ディスクランダム演奏について...
1台のCD(MD)チェンジャーに収納されている全ディスクの全曲を順不同に演奏します。

- 1 画面に触れてメニュー画面を表示する
- 2 メニュー画面の「SUB MODE」キーに触れて、サブメニューを表示する
- 3 サブメニューの「DISC RANDOM」キーに触れる

選択したキーの色が変わり、画面に「DISC RANDOM」を表示します。

ディスク順の演奏に戻すには...
もう一度、「DISC RANDOM」キーに触れてください。
ディスクランダム演奏表示が消えて、演奏中の曲から通常の演奏になります。

DSPを操作する

スタンダードモード/プロモード を切り換える


モード選択について...

DSP(DPH910)接続時は、スタンダードモード STANDARD またはプロモード PRO を選択してユーザーのレベルに合わせた音の調整、補正を行うことができます。音響特性等の詳細についてはDSPに付属の取扱説明書をご覧ください。

スタンダードモード<STANDARD>
DSFおよびG.EQによって音質、音場が調整できます。

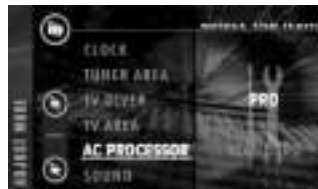
プロモード<PRO>
VSEおよびP.EQによって音質、音場が調整できます。

・初期設定は「STANDARD」です。

- 1 アジャストボタン()を押して、アジャスト画面を表示する
- 2 アジャスト画面の「 」キーに触れてアジャスト画面を切り換える



- 3 「AC PROCESSOR」キーに触れる



- 4 「PRO」または「STANDARD」キーに触れて、モードを設定する

- 5 「RTN」キーに触れて、元のモードに戻る

ご注意

スタンダードモード<STANDARD>で行った調整は、プロモード<PRO>時には反映されません。また、プロモード<PRO>で行った調整は、スタンダードモード<STANDARD>時には、反映されません。


サブウーファー、オートラウドネス、再生帯域の出力を調整する

サブウーファー出力について...

別販DSP(DPH910)に接続した、サブウーファーの出力調整を行うことができます。

オートラウドネス(Auto Loudness Control)について...

DSP(DPH910)接続時は、音量に応じて低音と高音を自然に強調するラウドネス機能と小音量時に聴こえにくくなる小レベルの音を自然に強調するコンプレッサ機能を、組合せたオートラウドネスに変わります。また、コンプレッサの効果量を0~10の範囲で微調整することができます。

- 1 アジャストボタン()を押して、アジャスト画面を表示する
- 2 アジャスト画面の「 」キーに触れてアジャスト画面を切り換える
- 3 「SOUND」キーに触れる



外部機器の操作

DSPを操作する

4 設定項目キーに触れて調整モードに入る

設定項目キーに触れると、設定項目キーの色が変わります。

AUTO LOUDNESS:

オートラウドネスにより、ラウドネスを設定したまま、効果量を11段階(0~10)に調整できます。

・「**▲**」「**▼**」キーに触れて設定します。

WOOFER OUT:

ウーファースピーカーの本数によって切り換えます。

モノラル(MONO)またはステレオ(ST)に設定すると、ウーファーボリュームを調整することができます。

・「STEREO」**▲**「MONO」**▲**「OFF」キーに触れて設定します。

WOOFER LPF:

ローパスフィルターの周波数を、「50Hz」**▲**「80Hz」**▲**「120Hz」キーに触れて設定します。

HPF :

ハイパスフィルターの周波数を、「OFF」**▲**「50Hz」**▲**「80Hz」**▲**「120Hz」キーに触れて設定します。

TEST TONE:

スピーカーの結線確認に使用します。

・「**▲**」「**▼**」キーに触れて設定します。

(ALL RR RL FR FL WR WL OFF)

5 「RTN」キーに2回触れて、メイン画面に戻る

ウーファー出力レベルを調整する

接続されたサブウーファーの出力レベルを調整することができます。

1 オーディオモードボタン()を押す

ACプロセッサメニュー画面になります。

2 「WOOFER VOL」キーに触れる



3 「**▲**」「**▼**」キーに触れてレベルを調整する

4 オーディオモードボタン()を2回押す

または「RTN」キーに触れる

メイン画面に戻ります。

リスニングポジションを設定する(スタンダードモード)

・初期設定は「FRINT」です。

1 オーディオモードボタン()を押す

ACプロセッサメニュー画面になります。

2 「**▲**」キーに触れて、画面を切り換える

3 「POSI.SELECT」キーに触れて、ポジション設定画面にする



4 設定キー(「FRONT R」等)に触れて、リスニングポジションを選ぶ

FULL SEAT : 全座席
FRONT R : 前座席右側
FRONT L : 前座席左側
FRONT : 前部座席
REAR : 後部座席
PASS : 設定なし

5 オーディオモードボタン()を押す

または、「RTN」キーに2回触れる

メイン画面に戻ります。

リスニングポジションを調整する(スタンダードモード)

1 オーディオモードボタン()を押す

ACプロセッサメニュー画面になります。

2 「**▲**」キーに触れて、画面を切り換える

3 「POSI.DETAIL」キーに触れて、ポジション設定画面にする



4 設定キー(「**▲**」等)に触れて、バランス/フェーダーを調整する

5 オーディオモードボタン()を押す

または、「RTN」キーに2回触れる

メイン画面に戻ります。

DSPを操作する


G.EQの操作(スタンダードモード)

G.EQ (グラフィックイコライザー)について...

DSP(DPH910)接続時は、ACプロセッサのモード設定をスタンダードモード **STANDARD** にしてください。モード設定については、59ページをご覧ください。

G.EQ効果をON/OFFする

- ・初期設定は「ON」です。
- ・G.EQ効果を「OFF」に設定すると、「G.EQの操作」で行った調整は、音楽ソースに反映されません。

1 オーディオモードボタン()を押す


ACプロセッサメニュー画面になります。

2 「G.EQ ON/OFF」キーに触れる




3 「ON/OFF」キーに触れて、設定する

「ON/OFF」キーに触れるたびに、ON/OFFが切り換わります。

4 オーディオモードボタン()を押す

または「RTN」キーに触れる
メイン画面に戻ります。

G.EQメニューを選ぶ

1 オーディオモードボタン()を押す

ACプロセッサメニュー画面になります。

2 「G.EQ BASIC」キーに触れる

G.EQベーシックメニューを表示します。




3 設定キー(「G.EQ BASIC1」等)に触れてメニューを選ぶ

G.EQベーシックメニュー

No.	機能名	内容
1	BASS BOOST (バスブースト)	重低音増強
2	HIGH BOOST (ハイブースト)	中高音域増強
3	ACOUSTICAL (アコースティカル)	中音域(人の声)増強
4	IMPACT (インパクト)	低音域と高音域を増強
5	SMOOTH (スムーズ)	しっとりとした感じ
6	FLAT (フラット)	原音

ご注意

スタンダードモードで行った調整は、プロモード時には反映されません。また、プロモードで行った調整は、スタンダードモード時には反映されません。

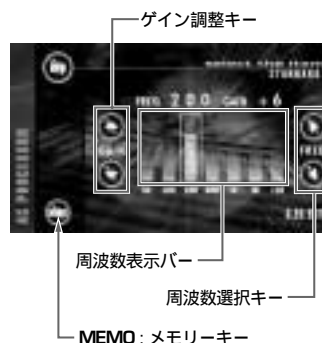
4 オーディオモードボタン()を押す

または「RTN」キーに2回触れる
メイン画面に戻ります。

G.EQを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)


1 G.EQメニューを選ぶ手順(1~3)で、編集のベースとなるG.EQメニューを選ぶ

2 「EDIT」キーに触れる





3 周波数表示バーまたは周波数選択キーに触れて、調整する周波数を選ぶ

- ・調整周波数は、50Hz、100Hz、200Hz、400Hz、1kHz、3kHz、12kHzです。
- ・各調整項目の詳細は、DPH910の取扱説明書をご覧ください。

4 ゲイン調整キー(「」)に触れて、調整する


- ・調整範囲は、-12dB ~ +12dBです。
- ・レベルを上げすぎると、音がひずむ場合があります。

5 手順3~4を繰り返して、各周波数を調整し終わったら、「RTN」キーに触れてG.EQベーシックメニュー画面に戻る

6 メモリーするときは、ダイレクトボタン() ~ () を押し続ける(約2秒間)

ユーザーメニューにメモリーされます。

・ユーザーメモリーには、タイトルをつけることができます。タイトル入力方法は、「ユーザーメニューにタイトルをつける」(68ページ)をご覧ください。

7 オーディオモードボタン()を押す

または「RTN」キーに2回触れる
メイン画面に戻ります。


DSFの操作(スタンダードモード)

DSF(デジタルサウンドフィールド)について...

DSP(DPH910)接続時は、ACプロセッサのモード設定をスタンダードモード **STANDARD** にしてください。モード設定については、59ページをご覧ください。

DSF効果をON/OFFする

- ・初期設定は「ON」です。
- ・DSF効果を「OFF」に設定すると、「DSFの操作」で行った調整は、音楽ソースに反映されません。

1 オーディオモードボタン()を押す

ACプロセッサメニュー画面になります。


2 「DSF ON/OFF」キーに触れる



3 「ON/OFF」キーに触れて、設定する

「ON/OFF」キーに触れるたびに、ON/OFFが切り換わります。


DSPを操作する

4 オーディオモードボタン()を押す


または「RTN」キーに触れる

メイン画面に戻ります。

DSFメニューを選ぶ

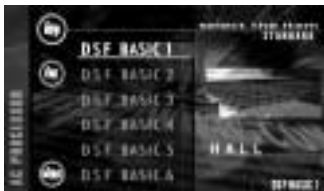
1 オーディオモードボタン()を押す

ACプロセッサメニュー画面になります。

2 「」キーに触れて画面を切り換える

3 「DSF BASIC1」または「DSF BASIC2」キーに触れる

DSFベーシックメニューを表示します。




4 設定キー(「DSF BASIC1」等)に触れてメニューを選ぶ

・DSFベーシック1、DSFベーシック2メニューについては右欄をご覧ください。

ご注意

スタンダードモードで行った調整は、プロモード時には反映されません。また、プロモードで行った調整は、スタンダードモード時には反映されません。

5 オーディオモードボタン()を押す

または「RTN」キーに触れる

メイン画面に戻ります。

<DSFベーシックメニュー1>

No.	機能名	内容
1	HALL(ホール)	広いホールのような音場
2	CHURCH(チャーチ)	天井が高い大聖堂のような音場
3	STADIUM(スタジアム)	広く、天井や壁のない球場のような音場
4	LIVE HOUSE(ライブハウス)	ジャズクラブより大きめのライブ感覚の音場
5	CLUB(クラブ)	低音が強調されたクラブのような音場
6	JAZZ CLUB(ジャズクラブ)	天井が低いジャズクラブのような音場

<DSFベーシックメニュー2>

No.	機能名	内容
1	DOME(ドーム)	屋内競技場のような音場
2	CHAMBER(チャンバー)	天井が高い大聖堂のような音場
3	PARK(パーク)	広々とした屋外のような音場
4	THEATER(シアター)	映画館や劇場の音場
5	STUDIO(スタジオ)	リスニングルームのような音場
6	BGM	ヴォーカルをカット

DSFを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)

1 DSFメニューを選ぶ手順(1~3)で、編集のベースとなるDSFメニューを選ぶ

2 「EDIT」キーに触れる



3 設定項目キー(「EFFECT」等)に触れて、調整する項目を選ぶ

DSP(DPH910)のDSF使用時に選べる項目

- ・EFFECT : 0~100%
- ・DELAY : 0~100ms

- ・REAR MIX : 0~100%
- ・REVERB TIME : 0.3~10s
- ・HIGH : 0.1~1.0
- ・ROOM SIZE : 0.1~4.0
- ・LIVENESS : 0~10

DSFメニューのBGMはEFFECTのみ調整できます。

REVERB TIMEおよびHIGHの調整項目について


次のDSFメニューを調整のベースとしたときに選択できます。

- ・HALL ・DOME
- ・CHURCH ・CHAMBER



ROOM SIZEおよびLIVENESSの調整項目について

次のDSFメニューを調整のベースとしたときに選択できます。

- ・STADIUM ・PARK
- ・LIVE HOUSE ・THEATER
- ・CLUB ・STUDIO
- ・JAZZ CLUB


4 「」キーに触れて調整する

5 手順3~4を繰り返して調整し終わったら、「RTN」キーに触れてDSFベーシックメニュー画面に戻る

6 調整内容をメモリーするときは、ダイレクトボタン( ~ )を押し続ける(約2秒間)

ユーザーメニューにメモリーされます。

・ユーザーメモリーには、タイトルをつけることができます。タイトル入力方法は、「ユーザーメニューにタイトルをつける」(68ページ)をご覧ください。

7 オーディオモードボタン()を押す

または「RTN」キーに触れる

メイン画面に戻ります。

VSEの操作(プロモード)


VSE(バーチャル・スペース・エンハンサー)について...

DSP(DPH910)接続時は、ACプロセッサのモード設定をプロモードPROにしてください。モード設定については、59ページをご覧ください。

VSE効果をON/OFFする

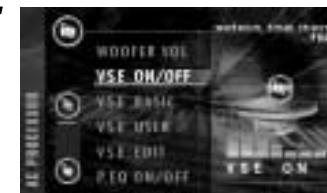
・初期設定は「ON」です。

・VSE効果を「OFF」に設定すると、「VSEの操作」で行った調整は、音楽ソースに反映されません。

1 オーディオモードボタン()を押す


ACプロセッサメニュー画面になります。

2 「VSE ON/OFF」キーに触れる



3 「ON/OFF」キーに触れて、設定する

「ON/OFF」キーに触れるたびに、ON/OFFが切り換わります。


4 オーディオモードボタン()を押す

または「RTN」キーに触れる

メイン画面に戻ります。

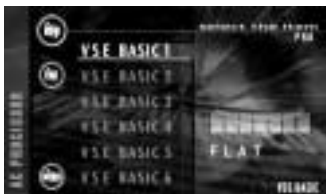
DSPを操作する

VSEメニューを選ぶ

1 オーディオモードボタン()を押す
ACプロセッサメニュー画面になります。

2 「VSE BASIC」キーに触れる

VSEベーシックメニューを表示します。




3 設定キー(「VSE BASIC1」等)に触れてメニューを選ぶ

No.	機能名	内容
1	FLAT(フラット)	原音、フラットイコライジング
2	BASS BOOST(バスブースト)	重低音増強
3	HIGH BOOST(ハイブースト)	中高音域増強
4	IMPACT(インパクト)	低音域と高音域を増強
5	ACOUSTICAL(アコースティカル)	中音域(人の声)増強
6	SMOOTH(スムーズ)	しっかりと落ち着いた感じ

ご注意

スタンダードモードで行った調整は、プロモード時には反映されません。また、プロモードで行った調整は、スタンダードモード時には反映されません。

4 オーディオモードボタン()を押す

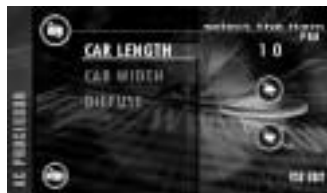
または「RTN」キーに2回触れる

メイン画面に戻ります。

VSEを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)

1 VSEメニューを選ぶ手順(1~3)で、編集のベースとなるVSEメニューを選ぶ

2 「EDIT」キーに触れる



3 設定項目キー(「CAR LENGTH」等)に触れて、調整する項目を選ぶ



調整内容

CAR LENGTH : 車内の長さに対する補正ズレを調整します。



CAR WIDTH : 車内の幅に対する補正ズレを調整します。

DIFFUSE : 広がり感の補正ズレを調整します。

・調整範囲は、1~10です。


4 「」「」キーに触れて調整する

5 手順3~4を繰り返して調整し終わったら、「RTN」キーに触れてVSEベーシックメニュー画面に戻る

6 調整内容をメモリーするときは、ダイレクトボタン( ~ )を押し続ける(約2秒間)

ユーザーメニューにメモリーされます。

・ユーザーメモリーには、タイトルをつけることができます。タイトル入力方法は、「ユーザーメニューにタイトルをつける」(68ページ)をご覧ください。

7 オーディオモードボタン()を押す

または「RTN」キーに2回触れる

メイン画面に戻ります。

P.EQの操作(プロモード)


P.EQ(パラメトリックイコライザー)について...

DSP(DPH910)接続時は、ACプロセッサのモード設定をプロモードPROにしてください。モード設定については、59ページをご覧ください。

P.EQ効果をON/OFFする

・初期設定は「ON」です。

・P.EQ効果を「OFF」に設定すると、「P.EQの操作」で行った調整は、音楽ソースに反映されません。

1 オーディオモードボタン()を押す


ACプロセッサメニュー画面になります。

2 「P.EQ ON/OFF」キーに触れる



3 「ON/OFF」キーに触れて、設定する


「ON/OFF」キーに触れるたびに、ON/OFFが切り換わります。

4 オーディオモードボタン()を押す


または「RTN」キーに触れる

メイン画面に戻ります。

P.EQメニューを選ぶ

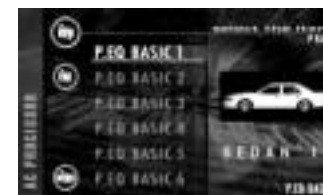
1 オーディオモードボタン()を押す

ACプロセッサ画面になります。

2 「」キーに触れて、画面を切り換える

3 「P.EQ BASIC」キーに触れる

P.EQベーシックメニューを表示します。




3 設定キー(「P.EQ BASIC1」等)に触れてメニューを選ぶ

No.	VSE名	設定車種
1	SEDAN-1	大型セダン
2	SEDAN-2	小型セダン
3	WAGON-1	大型ワゴン
4	WAGON-2	小型ワゴン
5	MINI VAN	大型ワンボックス
6	MINI VAN	小型ワンボックス

ご注意

スタンダードモードで行った調整は、プロモード時には反映されません。また、プロモードで行った調整は、スタンダードモード時には反映されません。

4 オーディオモードボタン()を押す

または「RTN」キーに2回触れる

メイン画面に戻ります。

DSPを操作する

P.EQを調整/メモリーする (ユーザーメモリー)

1 P.EQメニューを選ぶ手順(1~3)で、編集のベースとなるP.EQメニューを選ぶ

2 「EDIT」キーに触れる



3 設定項目キー(「FRONT/REAR」等)に触れて、調整する項目を選ぶ

調整内容

- F/R :FRONT/REAR
- BAND(バンド) :1~3
- FREQUENCY(周波数) :20Hz~20kHz
- GAIN(ゲイン) : -12dB ~ +12dB
- Q(Qカーブ) :1/3/5/7/20

4 設定キーあるいは「」キーに触れて設定する

5 手順3~4を繰り返して調整し終えたら、「RTN」キーに触れてP.EQベシックメニュー画面に戻る

6 調整内容をメモリーするときは、ダイレクトボタン(1~6)を押し続ける(約2秒間)

- ユーザーメニューにメモリーされます。
- ユーザーメモリーには、タイトルをつけることができます。タイトル入力方法は、「ユーザーメニューにタイトルをつける」(次項)をご覧ください。

7 オーディオモードボタン(広域A-M)を押す

または「RTN」キーに2回触れる
メイン画面に戻ります。

ユーザーメニューにタイトルをつける

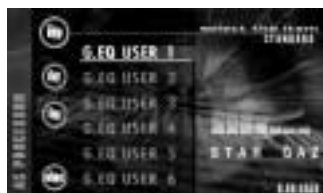
タイトル入力について...
DSF、G.EQ、VSE、P.EQのユーザーメニューにタイトルをつけて、選択したときに表示することができます。

1 オーディオモードボタンを押して、ACプロセッサーメニュー画面にする

2 スタンダードモードのときは、「G.EQ USER」あるいは「DSF USER」キーに触れる

プロモードのときは、「VSE USER」あるいは「P.EQ USER」キーに触れる

ユーザー画面を表示します。



3 ユーザーキーに触れて、タイトルをつけたいユーザーメモリーを選ぶ

4 「TITLE」キーに触れて、タイトル入力画面にする

5 文字キーに触れて、文字を入力する
•入力文字の種類については、「タイトルを入力する」(52ページ)をご覧ください。

6 入力を終えたら、「MEMO」キーに触れ続ける(約2秒間)

ピーとなってメモリーし、ユーザーメニューに戻ります。

7 オーディオモードボタン(広域A-M)を押す。または「RTN」キーに2回触れる
メイン画面に戻ります。

その他の外部機器を操作する

DVDビデオを見る

DVDビデオについて...

DVDビデオ対応ハイブリッドナビゲーション(NAX010VD)を接続した場合には、ナビゲーション側のリモコン操作によりDVDビデオを見ることができます。

DVDビデオモードを選ぶ

1 ナビゲーション本体にDVDビデオディスクを挿入する

または、DVDビデオディスクが挿入されているときは、ナビゲーション側リモコンのプレイ/ポーズボタンを押す

DVDビデオ映像が表示されます。

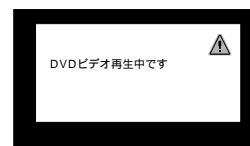
- 操作方法の詳細については、DVDビデオ対応ハイブリッドナビゲーション(NAX010VD)に付属の取扱説明書をご覧ください。

元のモードに戻すには...

ファンクションボタン(FUNC POWER)を押してください。

ご注意

- DVDビデオモード時、DVDビデオディスクからナビゲーションディスクに交換したときは、ナビゲーション/オーディオ・ビジュアルボタンを押してナビゲーションモードにしてください。
- ナビゲーション画面のときにナビゲーションディスクからDVDビデオディスクに交換すると、以下の画面を表示します。



この画面になったときは、ナビゲーション/オーディオ・ビジュアルボタンを押してDVDビデオ映像画面に切り換えてください。

外部機器の映像を見る (ビジュアルモード)

ビデオを見る

この機能は、VTR等がビジュアルインプット端子(VISUAL1 IN)あるいはビジュアル2端子(VISUAL2 IN)に接続されているときに操作できます。

モードを切り換える

1 ファンクションボタン(FUNC POWER)を押す
または、画面に触れてメニュー画面を表示し、「FUNCTION」キーに触れてモードを選ぶ

バンドを切り換える

1 バンドボタン(DISC UP BAND TOP)を押す
または、画面に触れてメニュー画面を表示し、「BAND」キーに触れてVISUAL1/2を切り換える

- ビジュアル1のモードは、ビジュアル1インプット(VISUAL1 IN)にDVD再生機能付ナビゲーションが接続されているときには使用できません。

後方確認カメラの映像を見る

本機は後方確認カメラを接続できます。この場合、別販のパワーボックス(CAA-194)が必要です。

後方確認カメラは本機のチューナーアンテナユニットのCCDカメラ映像入力端子に接続してください。

■ その他の外部機器を操作する

携帯用オーディオを聴く

AUXモードについて...

別販のCeNET結線対応AUX入力ユニット(EA-1155A)を接続して、市販のヘッドホンステレオなどの音楽ソースを聴くことができます。

AUXモードを選ぶ

1 本機のファンクションボタン(**FUNC POWER**)を押す

または、メニュー画面の「FUNCTION」キーに触れてサブメニュー画面を表示させて、「AUX」キーに触れる

元のモードに戻すには...

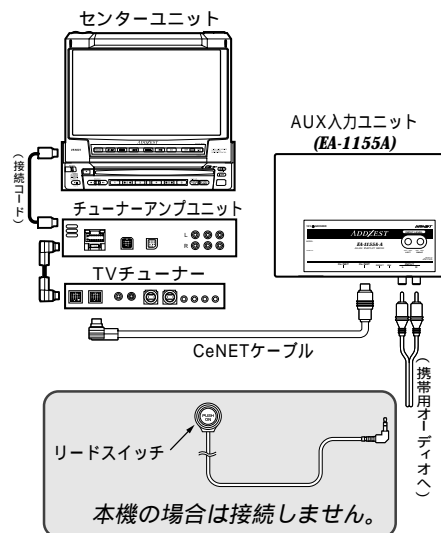
本機のファンクションボタン(**FUNC POWER**)を押すか、またはメニュー画面の「FUNCTION」キーに触れて、サブメニューを表示させてモードキーに触れてください。



DVDハイブリッドナビゲーション(NAX010VD)における音楽CDの演奏について...

- ACCESSORY(アクセサリ)モードになります。
- NAVI/AV切換ボタン(**NVG/AV**)を押してナビゲーション画面に切り換えると、ナビゲーション側のCD演奏表示画面になります。詳しくは、ナビゲーションに付属の取扱説明書をご覧ください。

AUX入力ユニット接続のしかた



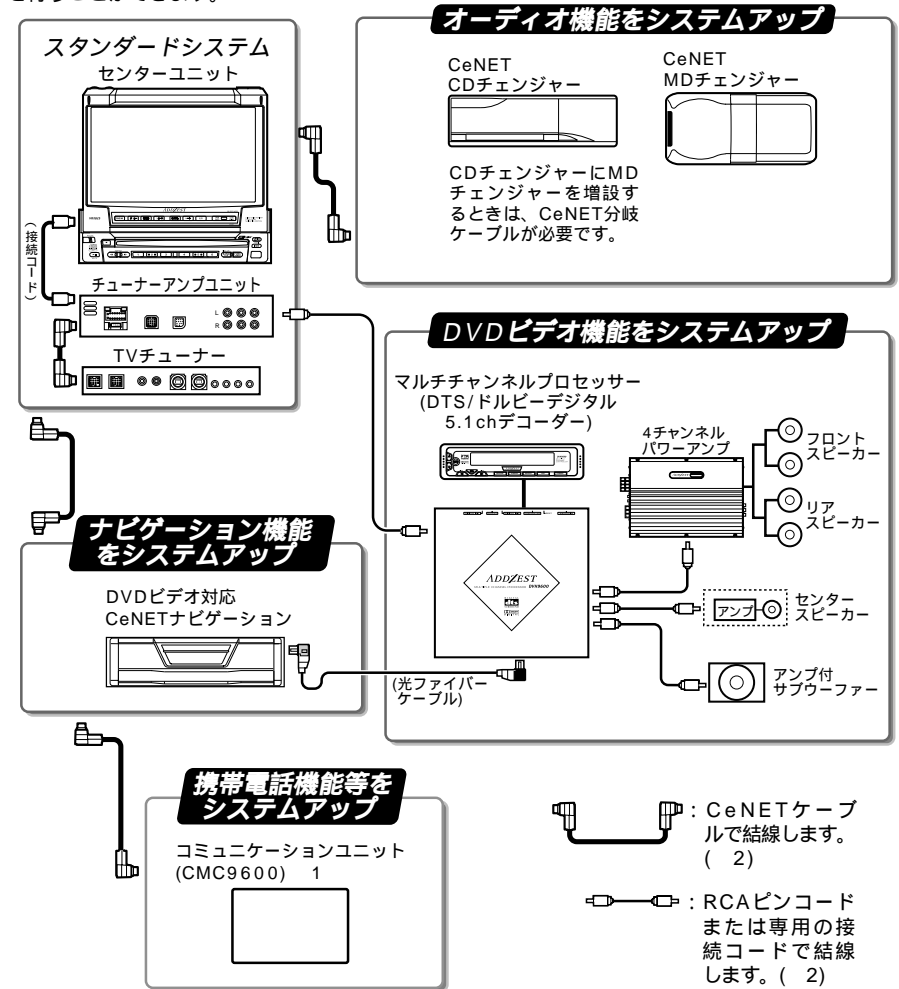
MDデッキを操作する

別販のMDデッキを接続すると、本機の操作でMDを演奏することができます。

- MDデッキの操作については、「CDを聴く」(48～51ページ)をご覧ください。操作してください。

システムアップについて

本機は**CeNET**マークのついている外部機器を接続することにより、様々なシステム拡張を行うことができます。



1. コミュニケーションユニットに接続可能なデジタル携帯電話機については、お買い求めの販売店にお問い合わせいただくか、カタログをご覧ください。または、弊社お客様相談室にお問い合わせください。
2. システムアップおよびそれに必要なCeNETケーブル等については販売店または弊社お客様相談室にお問い合わせください。また、接続についての詳細は、ご購入商品に付属の取付説明書をご覧ください。

システムアップについて

CeNETケーブルについて

CeNET接続ケーブルの最大配線長は、20m以下(CeNET分岐ケーブルCCA-519含む)です。接続の際は、下表をご参照のうえ、配線長が20mを越えないように、注意してください。

CeNET 接続ケーブル長一覧表

CeNETケーブル同梱機種	ケーブル長
CeNETCDチェンジャー	5m<オス オス>
CeNETMDチェンジャー	5m<オス オス>

< >内は、コネクタの形状を表しています。

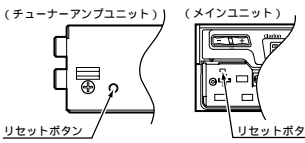
別販CeNETケーブル	ケーブル長
CCA-519 (CeNET分岐ケーブル)	1.0m<オス×2 メス>
CCA-520 (CeNET延長ケーブル)	2.5m<オス メス>
CCA-521 (CeNET延長ケーブル)	0.6m<オス メス>

アンテナ延長コード

CCA-331-500...ミニジャック(3.5) ケーブル長 (1 m)

故障と思われる前に

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう1度次のことをお調べください。

	症状	原因	処置
共通	電源が入らない/音が出ない	ヒューズが切れている	入っていたヒューズと同じ容量のヒューズと交換してください。再度切れる場合は、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		アンテナ電源コード、またはリモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
	パワーアンプなど、接続時のリモートオンコードの電流容量不足	接続するパワーアンプなどについて、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。	
	ボタンを押しても動作しない、ディスプレイが正確に表示しない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	電源をOFFにし、リリースレバーを押してDCPを取り外すした後、リセットボタンを細い棒などで押してください。 (チューナーアンプユニット) (メインユニット)  リセットボタン リセットボタン リセットボタンを押すとメモリーしたタイトル等がすべて消去されます。本機に接続している機器のリセットボタンも合わせて押してください。
ラジオ	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局で選局してください。

	症状	原因	処置
CD	CDがすぐ出してしまう	CDを表裏逆に入れている	CDのレーベル面を上にして入れてください。
	音飛びするノイズが入る	CDが汚れている	CDをやわらかい布でふいてください。
		CDに大きい傷やソリがある	CDを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後、音が良くない	湿気が多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴がつくことがある	電源を入れた状態にして、約1時間乾燥させてください。
	CDが入らない	本機の中にCDが入っている	イジェクトボタンを押してCDを取り出してからCDを入れてください。
TV	映像が出ない	パーキングブレーキがかかっている	パーキングブレーキが完全にかかっていることを確認してください。
		走行中である	走行中、映像は映りません。駐車してからお楽しみください。(パーキングブレーキを引いてください)
		ファンクションがTVモードになっていない	テレビを見るときには、ファンクションボタンで、TV画面になっているか確認してください。
	モニターOFFになっている	ディスプレイボタンを押すか、画面に触れてください。	
	映像が不鮮明	受信状態が悪い	山間や建物の陰などで、電波が十分きていないことが考えられます。電波の状態が良いところで、もう1度確認してください。
	画面が暗い	明るさ調整が不十分	明るさ調整が正しく調整されているか確認してください。
使用状況が悪い		車内温度が0 以下、または60 以上になっている場合が考えられます。車内温度を適温(25 前後)にして確認してください。	
		自動車のライトが点灯している	夜間は、画面を暗くして、眩しさを防いでいます。(昼間でも、自動車のライトを点灯すると、画面は暗くなります)
	色が薄い 色あいが悪い	色の調整が不十分	色あい、色の濃さが正しく調整されているか確認してください。
	映像が2重、3重になる	受信状態が悪い	山やビルからの反射電波の影響が考えられます。場所や方向を変えて確認してください。
	映像にはん点やしま模様が出る	妨害電波がある	自動車や電車、高圧線、ネオンなどからの影響(妨害電波)が考えられます。場所を変えて確認してください。
その他	ディスプレイに「エラー表示」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次ページの「エラー表示」を参照して、内容を確認してください。

その他

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー表示	原因	対処方法
C D	ERROR2	CDデッキのメカが故障しているとき、または誤動作しているときに表示	CDイジェクトボタンを押してください。復帰しない場合は、販売店にご相談ください。
	ERROR3	CDデッキ内のCDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないCDと交換してください。
	ERROR6	CDを裏返しに入れ、演奏できないときの表示	正しく入れ直してください。
	ERRORH	CDデッキの温度が上がりすぎたため、自動的に動作を停止させたときの表示	CDデッキの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ちください。
C D チ ェ ン ジ ャ ー	ERROR2	CDチェンジャー内のCDがローディングできないときの表示	CDチェンジャーのメカニズムの故障と思われるので、販売店にご相談ください。
	ERROR3	CDチェンジャー内のCDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないCDと交換してください。
	ERROR6	CDチェンジャー内のCDを裏返しに入れ、演奏できないときの表示	正しく入れ直してください。
		CDチェンジャー内のCDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないCDと交換してください。
M D チ ェ ン ジ ャ ー	ERROR2	MDチェンジャーのメカが故障しているときの表示	販売店にご相談ください。
	ERROR3	MDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷のないMDと交換してください。
	ERROR6	ブランクディスク(無録音)を入れたときの表示	録音されたMDと交換してください。
	ERROR H	MDチェンジャーの温度が上がりすぎたため、自動的に動作を停止させたときの表示	MDチェンジャーの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ちください。

上記以外のエラーが表示されたときは、前ページを参照してリセットボタンを押してください。リセットすると、メモリーされたTV/ラジオ局の周波数等が消去されます。それでも復帰しない場合は、本体のアクセサリ(ACC)電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

仕様

LCDモニター部

画面寸法 : 7型
(152mm x 85mm)
表示方式 : 透過型TN液晶パネル
駆動方式 : TFT(薄膜トランジスタ)アクティブマトリックス駆動方式
画素数 : 336,960画素
(1440 x 234)

CDプレーヤー部

周波数特性 : 17Hz ~ 20kHz(±1dB)
SN比 : 98dB(1kHz) IHF-A
セパレーション : 95dB(1kHz)
高調波ひずみ率 : 0.02%

FMチューナー部

受信周波数 : 76.0MHz ~ 90.0MHz
実用感度 : 11dB(新IHF)
50dBクワイティング感度
SN比 : 17dB(新IHF)
SN比 : 70dB(IHF・A、LPF)
周波数特性 : 30Hz ~ 15kHz ± 3dB
分離度 : 35dB(1kHz)
高調波ひずみ率 : 0.4%(1kHz)

AMチューナー部

受信周波数 : 522kHz ~ 1,629kHz
実用感度 : 25dBμ

オーディオアンプ部

定格出力 : 17W x 4
(20Hz ~ 20kHz、1%、4)
最大出力 : 45W x 4(JEITA)
適合インピーダンス : 4(4 ~ 8)

入力

オーディオ入力 : 130 ± 60mVrms(入力インピーダンス10k以上)
ビデオ入力 : 1.0 ± 0.2Vp-p(入力インピーダンス75k)

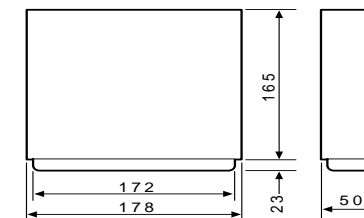
ビデオ出力

ビデオ出力 : 1.0 ± 0.2Vp-p(出力インピーダンス75k)

共通部

電源電圧 : DC14.4V
接地方式 : マイナス接地
消費電流 : 4.0A(1W時)
ヒューズ定格 : 15A
外形寸法(本体)
メインユニット : 178(W) x 50(H) x 188(D)mm
[取付寸法165(D)mm]
チューナーアンプユニット : 178(W) x 37.5(H) x 209.5(D)mm
質量 メインユニット : 2.0kg
チューナーアンプユニット : 1.1kg

(メインユニット)



その他

* TVチューナーの詳細については、TVチューナーに付属の「取扱説明書」をご覧ください。
* 上記の仕様および外観は、予告なく変更する場合があります。またこの説明書の中のイラストと実物が一部異なる場合があります。

アフターサービスについて

保証書

この商品には、保証書が別途添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。
お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

クラリオン株式会社

本社 〒112-0001 東京都文京区白山 5-35-2
TEL.0120-112-140 (フリーダイヤル)
お問い合わせは、お客様相談室へ

ご購入年月	年 月 日
ご購入店名	TEL
製造番号	

お客様へ.....ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、あとでお問い合わせされるときに便利です。